第３次七戸町長期総合計画策定に係る

第１回七戸町総合開発審議会

日　時　　令和７年６月１７日（火）
　　午後１時３０分から
場　所　　七戸町役場本庁舎
　　２階　第１・２会議室

次　　第

１　開会

２　委嘱状交付

３　町長あいさつ

４　自己紹介

５　案件
（１）会長・副会長選出について
（２）第３次七戸町長期総合計画について

６　その他

７　閉会

第３次七戸町長期総合計画策定に係る
七戸町総合開発審議会委員名簿

（任期： 令和７年６月１７日～令和９年６月１６日、順不同・敬称略）

No.	氏　　名	備　　考
1	岡　村　茂　雄	七戸町町内会連合会会長
2	坪　　晃	七戸町天間林商工会会長
3	田　中　清　一	七戸町商工会会長
4	中　岫　　亨	ゆうき青森農業協同組合天間林営農センター長
5	川　端　義　幸	十和田おいらせ農業協同組合七戸支店長
6	天　間　優　彦	七戸町文化協会会長
7	浜　村　良　一	特定非営利活動法人七戸町スポーツ協会会長
8	天　間　　勤	七戸町社会福祉協議会会長
9	田　頭　拓　也	七戸中央公民館分館分館長代表
10	髙　松　幸　蔵	七戸町連合ＰＴＡ会長

資料１－１

案件（２）　第３次七戸町長期総合計画について

１　七戸町総合開発審議会について

七戸町総合開発審議会設置条例により、町の総合開発及び土地利用に関する重要事項について、町長の諮問に応じ調査審議するために設置する。

２　長期総合計画の構成と策定根拠・経緯

（１）七戸町長期総合計画の構成

本計画は、大きく『基本構想』と『基本計画』で構成され、今後 10 年間における町政の指針となります。

①基本構想

七戸町の目指す将来像と将来の目標を明らかにし、まちづくりの基本方針を示します。また、まちづくりにおける戦略的な重点施策の大綱を提示します。

②基本計画

基本構想における施策の大綱に基づいて、それぞれ事業分野ごとの計画を立案します。また、分野別における、現況と課題を把握し、それらに対応するための具体的な施策を体系的に明らかにします。

（２）七戸町長期総合計画の策定根拠・経緯

①七戸町長期総合計画（平成１８年７月策定・平成１８年度～平成２７年度）

地方自治法　第２条第４項

市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。

これまで総合計画については、地方自治法第２条第４項において、総合計画の基本部分である「基本構想」について議会の議決を経て定めることが義務付けされていたが、国の地域主権改革の下、平成２３年５月２日に「地方自治法の一部を改正する法律」が公布され、基本構想の法的な策定義務がなくなり、策定及び議会の議決を経るかどうかは市町村の独自の判断に委ねられることとなった。

しかしながら、七戸町では、総合計画は、町の総合的かつ計画的な行政運営の指針を示すものであり、町民に、まちづくりの長期的な展望を示す重要事項であることから、平成２７年１２月定例議会で、『七戸町議会の議決すべき事件を定める条例』を改正し、議会の議決を経て策定するものとしました。

七戸町議会の議決すべき事件を定める条例　第２条第１項第２号 地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を策定、変更又は廃止すること。

②第２次七戸町長期総合計画（平成２８年３月策定・平成２８年度～平成３７年度（令和７年度））

③第３次七戸町長期総合計画（令和８年３月策定予定・令和８年度～令和１７年度）

（３）今後のスケジュール

資料１−２のとおり

（４）令和６年度実施の第３次七戸町長期総合計画策定に係る基礎調査等業務について

資料２から資料６のとおり

資料1-2

策定スケジュール

※ 基礎調査については、R6年度に実施済

年月	区分	調査･策定の内容	トップインタビュー	総合開発審議会
令和7年 4月	構想策定期	推進準備		
5月		序論作成 トップインタビューに向け、新町長様に第2次の基本構想に対する、第3次への考えなどをまとめておいていただく		
			トップインタビュー ❶ ■町の将来像 ■基本方針 ■重点構想	
6月		基本構想骨格案作成 ●まちづくり基本方針の検討 ●将来指標のまとめ		審議会① （委嘱）
7月		基本構想素案作成 ●まちづくり基本方針の確立 ●基本的な施策（施策の大綱）の構築 ●重点プロジェクトの検討※		
8月				審議会②
9月	計画策定期	基本計画素案作成 ●分野別現況課題の確認 ●分野別施策方針の確認 ●分野別施策内容の検討 ●分野別主要事業の検討 ●重点プロジェクトの確認	トップインタビュー ❷ ■重点施策 ■重点事業 基本構想がまとまった段階	
10月				
11月		基本構想・基本計画（素案）総合化 ●上位計画との整合･調整 ●基本構想との整合･調整 ●全体調整		審議会③
12月		長期総合計画（案）確定 議会説明 ●パブリックコメント準備		審議会④ （答申）
令和8年 1月		●パブリックコメント		
2月		●レイアウトデータ作成 ●概要版作成（納品時期、要相談）		
3月		議会審議		

第3次七戸町長期総合計画策定

資料２

令和６年度実施『第３次七戸町長期総合計画策定に係る基礎調査』について

【令和６年度の取り組み】

第３次七戸町長期総合計画の策定作業に係る必要な事項について、調査及び基礎データの収集・分析等を行うため、『第３次七戸町長期総合計画の策定に係る基礎調査等業務委託』（受託先：アール・エー・ビー開発株式会社）を実施した。

①事務事業評価

庁内の関係課に対して、施策シートを基にしたヒアリングを実施し、施策の評価と今後の方針を確認。

②町民アンケート調査

町民の町に対する現常認識とこれからのまちの望ましい姿などを各分野別の視点から捉え、本計画の基礎とするため実施。

〇実施期間：令和６年８月～９月

〇調査対象：住民基本台帳より無作為抽出した 18 歳以上の町民 1,600 人

〇回 収 数：588 枚（回収率 36.8%）

③町民ワークショップ

町民や関係団体、これからの行政を担う若い役場職員のまちづくりに対する想いを聞くための機会として開催。

〇参加者 20 人（一般公募１人、関係団体推薦 11 人、役場職員８人）

〇第１回目（R6.10.22）オリエンテーション

〇第２回目（R6.11.19）グループワーク①（町の『光』と『影』の意見抽出）

〇第３回目（R6.12.19）グループワーク②（『光』を伸ばし、『影』を改善するための意見抽出）

〇第４回目（R7.1.24） グループワーク③（振り返り。提示された意見の文章化）

④高校生ワークショップ

次世代を担う若い世代の街づくりに対するお恋を聞くための機会として開催。

〇参加者 13 人（２年次生徒。「総合的な探究の時間」を活用）

〇第１回目（R7.1.22）オリエンテーション（町人口の推移、移住定住施策の説明）

〇第２回目（R7.1.29）グループワーク①（10 年後の七戸町の『良くなりそうなもの』『悪くなりそうなもの』の意見抽出）

〇第３回目（R7.2.12）グループワーク②（『良くなりそうなもの』を実現するには、『悪くなりそうなもの』を防ぐためにはの意見抽出）

資料３

第３次七戸町長期総合計画策定に関するアンケート調査

ご協力のお願い

町民の皆様方には、日頃から各種の調査にご協力いただきましてありがとうございます。

七戸町では今年度から来年度にかけて、「第３次七戸町長期総合計画」を策定することになり、現在その作業に取り組んでいるところです。

このアンケート調査は、町民の皆様のまちに対する現状認識とこれからのまちの望ましい姿などを各分野別の視点からとらえることにより、本計画の基礎とするために実施するものです。

なお、本調査は、町内に居住する満１８歳以上の方々を対象に、無作為により抽出させていただきました。**無記名**となっているほか、調査結果はすべて統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることは決してありません。お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の目的、趣旨等をご理解のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

令和6年8月

七戸町長　　小又　勉

回答についてのお願い

1．あて名のご本人がお答えください。
(家族の方や知り合いの方が聞き取りの上、記入してくださっても結構です。)

2．お答えは、設問ごとに(１つに○印)、(３つに○印)などと指定されていますのでご注意ください。
○印は、濃くつけてください。

3．ご記入いただいた調査票は　**９月20日（金）**　までに同封の返信用封筒に入れてご返送ください。（差出人のお名前と切手はいりません。）

4．この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

七戸町役場 企画調整課　　電話 ０１７６－６８－２９４０（直通）

◎ はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問１　あなたご自身のことについて、あてはまる番号１つに○印をつけてください。

（１）あなたの性別	１．男　　２．女　　**３．回答しない**
（２）あなたの年齢	１．10代　２．20代　３．30代　４．40代 ４．50代　５．60代　６．70歳以上
（３）家族構成	１．ひとり暮らし　２．夫婦２人世帯 ３．２世代（親と子）世帯　４．３世代（親・子・孫）世帯 ５．その他（　　）
（４）あなたの職業	１．勤め人（会社員・公務員等）　２．農業 ３．商店等自営業　４．無職・専業主婦 ５．学生　６．その他（　　）

町の現状への「満足度」について

問２　あなたは七戸町の現状に満足ですか、不満ですか。
以下の項目について、満足度を５段階の中から選らんでください。

分野	項　目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
都市基盤	(1)道路や鉄道が整い、行き来の便がよいか	5	4	3	2	1
	(2)自然が守られ、活用されているか	5	4	3	2	1
	(3)水源が守られ、水道が整っているか	5	4	3	2	1
	(4)生活排水の処理が行き届いているか	5	4	3	2	1
	(5)災害防止対策（避難場所、耐震化等）はできているか	5	4	3	2	1
産業	(6)農林畜産業に活力があるか	5	4	3	2	1
	(7)商工業に活力があるか	5	4	3	2	1
	(8)観光・レクリエーション施設は充実しているか	5	4	3	2	1
	(9)商工業や農林業の将来の担い手は育っているか	5	4	3	2	1
	(10)雇用や就業対策は充実しているか	5	4	3	2	1
健康・福祉	(11)地域の保健・医療がしっかりしているか	5	4	3	2	1
	(12)高齢者支援はしっかりしているか	5	4	3	2	1
	(13)障がい者福祉はしっかりしているか	5	4	3	2	1
	(14)生活困窮者やひとり親家庭の支援はしっかりしているか	5	4	3	2	1
	(15)コミュニティ活動やボランティア活動は活発か	5	4	3	2	1
生活環境	(16)コミュニティバス等の公共交通は便利か	5	4	3	2	1
	(17)河川水利施設は適正に管理されているか	5	4	3	2	1
	(18)地球温暖化防止対策（再生可能エネルギーの活用、施設節電等）は十分か	5	4	3	2	1
	(19)ゴミの減量化、リサイクルが進んでいるか	5	4	3	2	1
	(20)美しい農村景観が守られているか	5	4	3	2	1
	(21)火災、災害、交通事故、犯罪が少なく安心か	5	4	3	2	1
	(22)情報・通信（インターネット）が使いやすく、便利か	5	4	3	2	1
教育文化	(23)学校教育が充実し、子どもを育てるにはよい環境か	5	4	3	2	1
	(24)社会教育や生涯学習が盛んか	5	4	3	2	1
	(25)生涯スポーツが盛んか	5	4	3	2	1
	(26)青少年が健やかに育っているか	5	4	3	2	1
	(27)芸術・文化活動が盛んか	5	4	3	2	1
連携・交流	(28)町内の連携や町民交流は活発か	5	4	3	2	1
	(29)国内各地との連携・交流は活発か	5	4	3	2	1
	(30)国際化に向けた活動は活発か	5	4	3	2	1
住民と行財政	(31)住民参加のまちづくりが進んでいるか	5	4	3	2	1
	(32)町の財政は効率的で健全か	5	4	3	2	1
	(33)男女共同参画社会は実現しているか	5	4	3	2	1
	(34) 広報やウェブサイトなど行政の情報公開は活発か	5	4	3	2	1

暮らしの中での「大切さ・重要性」について

問３　以下の項目について、あなたが感じる暮らしの中での「大切さ、重要性」を５段階の中から選んでください。
また、全項目の中で特に「大切だ・重要だ」と思う項目を５つ選んで○印をつけてください。

分野	項　目	大切	やや大切	普通	あまり大切でない	大切でない	特に大切5つ
都市基盤	(1)道路や鉄道が整い、交通の便がよいこと	5	4	3	2	1	
	(2)自然が守られ、活用されていること	5	4	3	2	1	
	(3)水源が守られ、水道が整っていること	5	4	3	2	1	
	(4)水道排水の処理が行き届いていること	5	4	3	2	1	
	(5)災害防止対策（避難場所、耐震化等）が充実していること	5	4	3	2	1	
産業	(6)農林畜産業に活力があること	5	4	3	2	1	
	(7)商工業に活力があること	5	4	3	2	1	
	(8)観光・レクリエーション施設が充実していること	5	4	3	2	1	
	(9) 将来の担い手が育っていること	5	4	3	2	1	
	(10)雇用や就業対策が充実していること	5	4	3	2	1	
健康・福祉	(11)地域の保健・医療がしっかりしていること	5	4	3	2	1	
	(12)高齢者支援がしっかりしていること	5	4	3	2	1	
	(13)障がい者福祉がしっかりしていること	5	4	3	2	1	
	(14)生活困窮者やひとり親家庭の支援がしっかりしていること	5	4	3	2	1	
	(15)コミュニティ活動やボランティア活動が活発なこと	5	4	3	2	1	
生活環境	(16)コミュニティバス等の公共交通が便利なこと	5	4	3	2	1	
	(17)河川水利施設が適正に管理されていること	5	4	3	2	1	
	(18)地球温暖化防止対策（再生可能エネルギーの活用、施設の節電等）に取り組んでいること	5	4	3	2	1	
	(19)ゴミの減量化、リサイクルを進めること	5	4	3	2	1	
	(20)美しい農村景観を守ること	5	4	3	2	1	
	(21)火災、災害、交通事故、犯罪が少なく安心できること	5	4	3	2	1	
	(22)情報通信（インターネット）が使いやすいこと	5	4	3	2	1	
教育文化	(23)学校教育が充実し、子どもを育てるよい環境であること	5	4	3	2	1	
	(24)社会教育や生涯学習が盛んなこと	5	4	3	2	1	
	(25)生涯スポーツが盛んなこと	5	4	3	2	1	
	(26)青少年が健やかに育っていること	5	4	3	2	1	
	(27)芸術・文化活動が盛んなこと	5	4	3	2	1	
連携・交流	(28)町内の連携や町民交流が活発なこと	5	4	3	2	1	
	(29)国内各地との連携・交流が活発なこと	5	4	3	2	1	
	(30)国際化に向けた活動が活発になること	5	4	3	2	1	
住民と行財政	(31)住民参加のまちづくりが進むこと	5	4	3	2	1	
	(32)町の財政が効率的で健全であること	5	4	3	2	1	
	(33)男女共同参画社会が実現していること	5	4	3	2	1	
	(34)広報やウェブサイトなど行政の情報公開が活発なこと	5	4	3	2	1	

住みやすい七戸町について

問４　あなたにとって七戸町は「住みやすい町」ですか？
次の中から、１つを選んで番号に○をつけてください。

（１）とても住みやすい
（２）どちらかといえば住みやすい
（３）どちらかといえば住みにくい
（４）とても住みにくい

（１）か（２）を選んだ方は、問５へ

▼

問５「住みやすい」と感じた理由を以下の項目から３つ選んで番号に○をつけてください。

（１）すみずみまで道路が整っている。
（２）公共交通が充実し町内外への移動が便利である。
（３）子育てをする環境が整っている。
（４）高齢者や障がい者が安心して生活できる。
（５）救急医療体制や病院が整っている。
（６）継続的に働ける場が確保されている。
（７）地域活動が活発であり、地域につながりがある。
（８）道路・河川・公園などが適正に管理されている。
（９）図書館やスポーツ施設などの公共施設が充実している。
（10）災害や交通事故、犯罪への不安が少ない。
（11）買い物や娯楽施設が充実している。
（12）身近に親しめる自然が豊かである。
（13）その他（　　）

（３）か（４）を選んだ方は、問６へ

▼

問６「住みにくい」と感じた理由を以下の項目から３つ選んで番号に○をつけてください。

（１）すみずみまで道路が整っていない。
（２）公共交通が不十分で町内外への移動が不便である。
（３）子育てをする環境が整っていない。
（４）高齢者や障がい者が安心して生活できない。
（５）救急医療体制や病院が整っていない。
（６）継続的に働ける場が確保されていない。
（７）地域活動が乏しく、地域につながりがない。
（８）道路・河川・公園などの管理が不十分である。
（９）図書館やスポーツ施設などの公共施設が十分でない。
（10）災害や交通事故、犯罪への不安がある。
（11）買い物や娯楽施設が十分でない。
（12）身近に親しめる自然が少ない。
（13）その他（　　）

問７　その他、新しい七戸町のまちづくりについて、あなたのご意見、ご提案がありましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて投函してください。

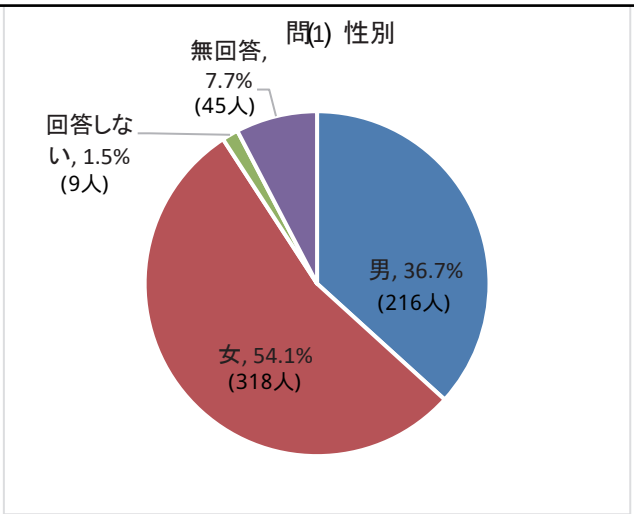
資料４

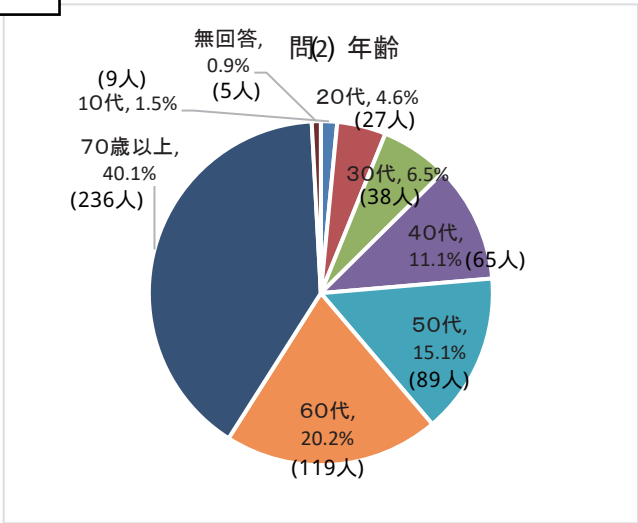
第３次七戸町長期総合計画策定に関するアンケート調査

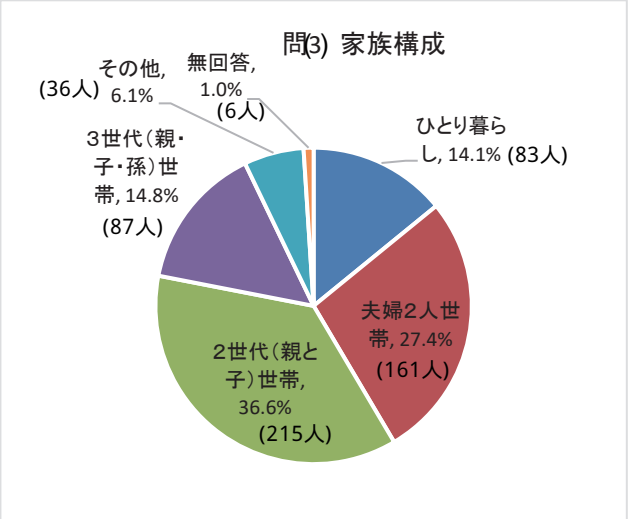
（結果報告一部抜粋）

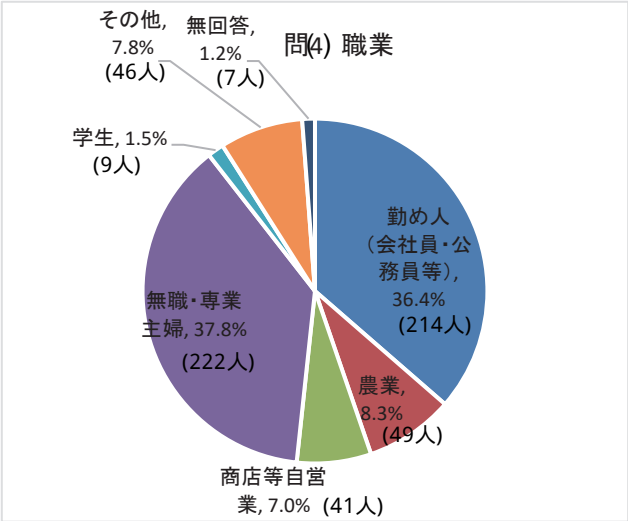
アンケート用紙配布総数：1,600人、回答総数：588人、回収率：36.75％

【問１】あなたの性別・年齢・家族構成・職業は？

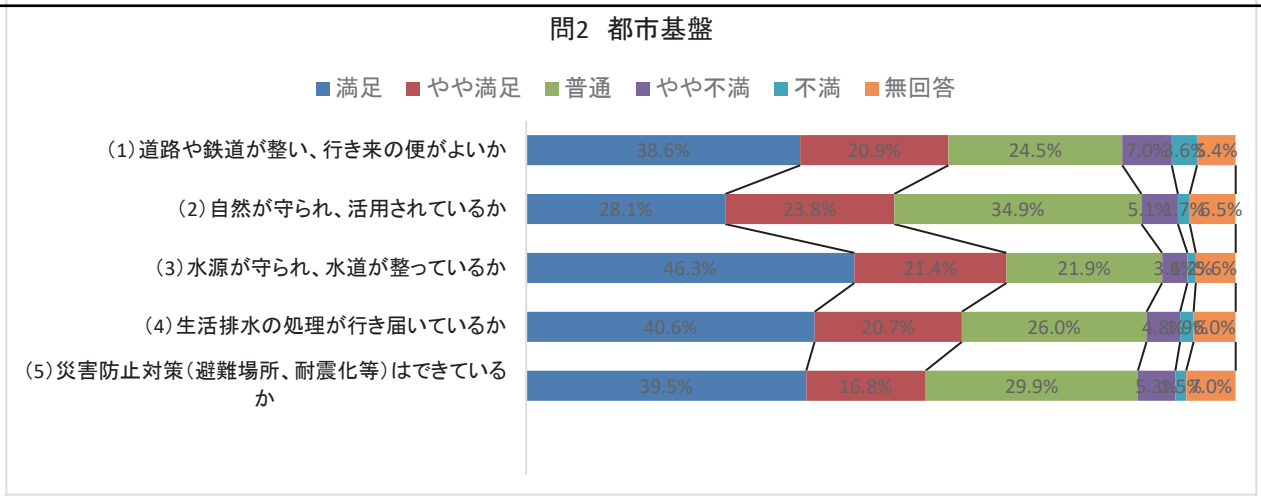


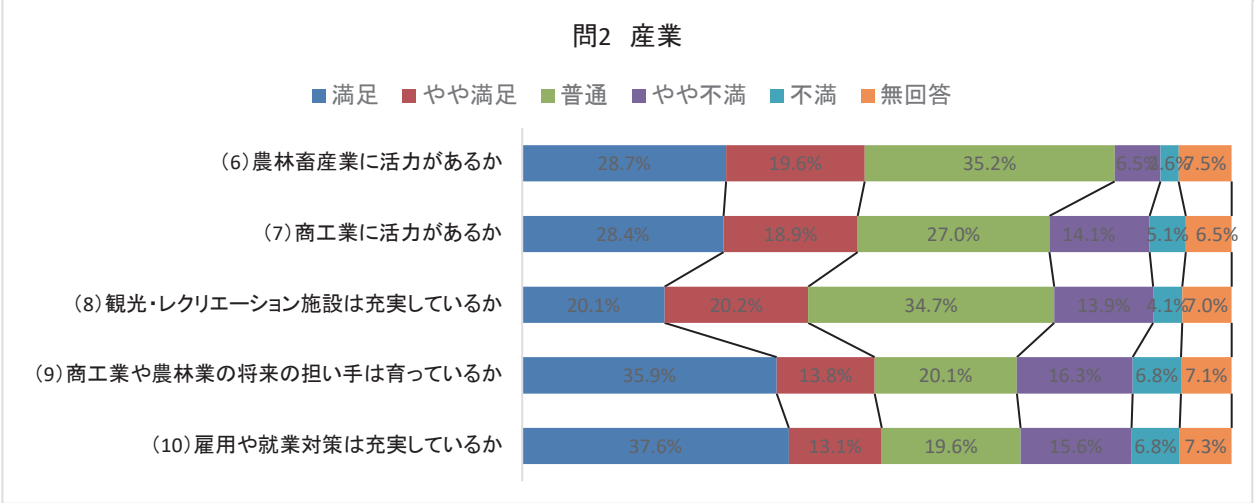


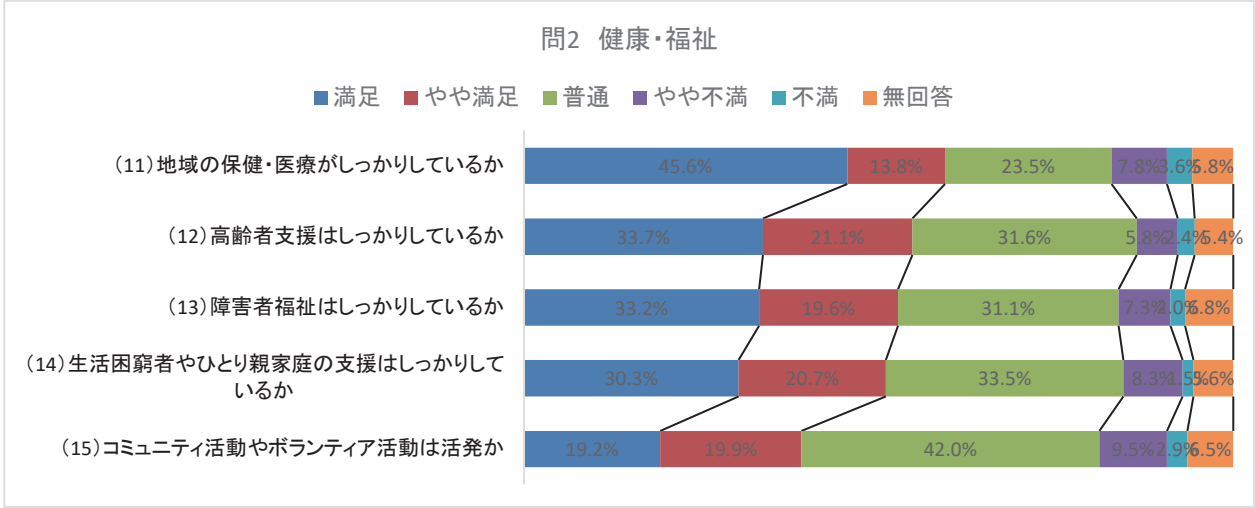


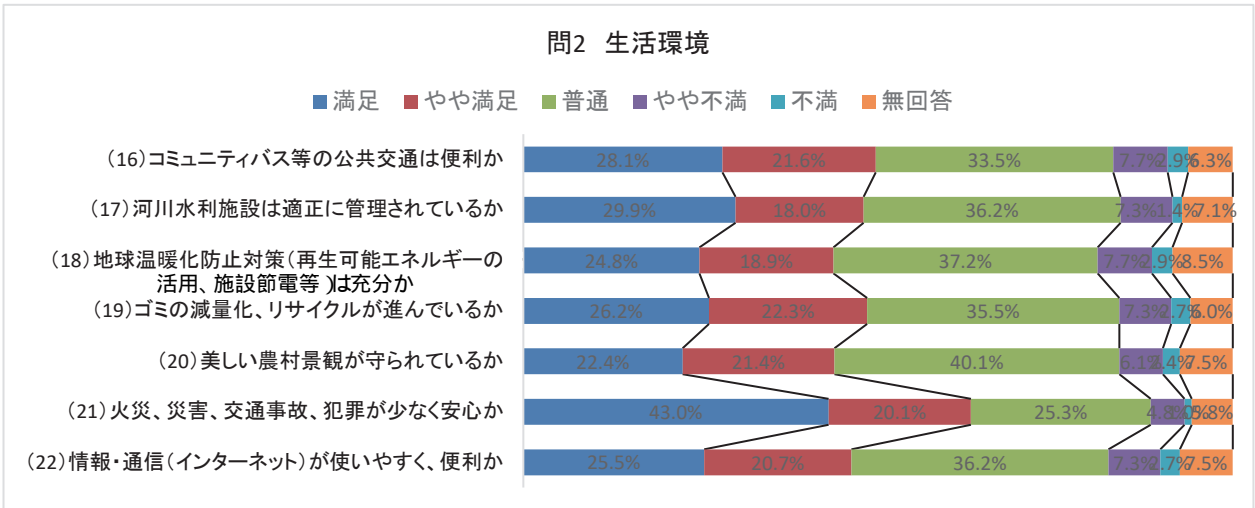


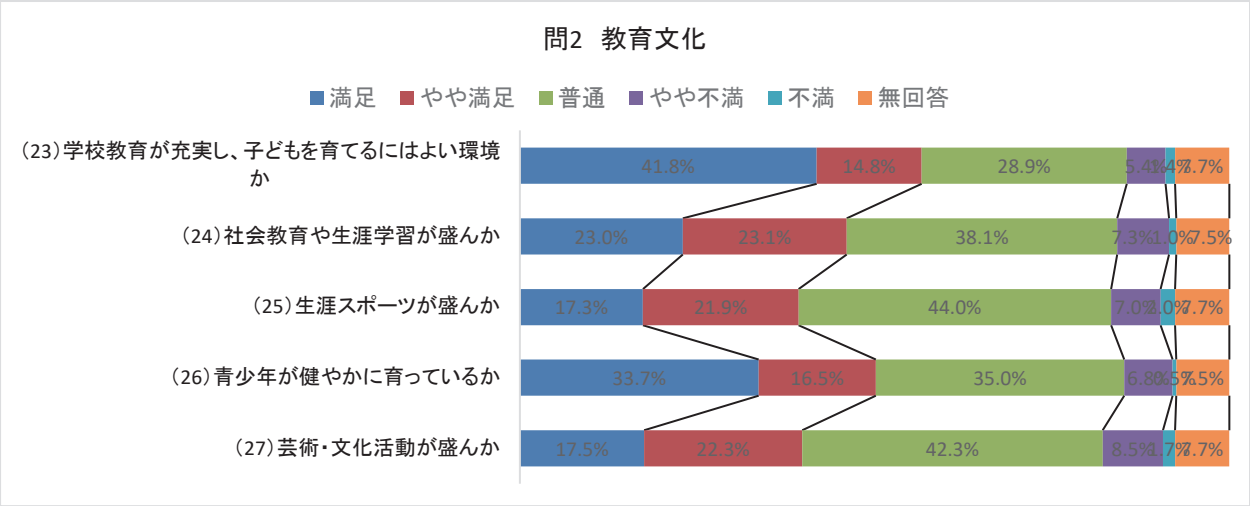
【問２】町の現状への「満足度」について…『あなたは七戸町の現状に満足ですか？不満ですか？』

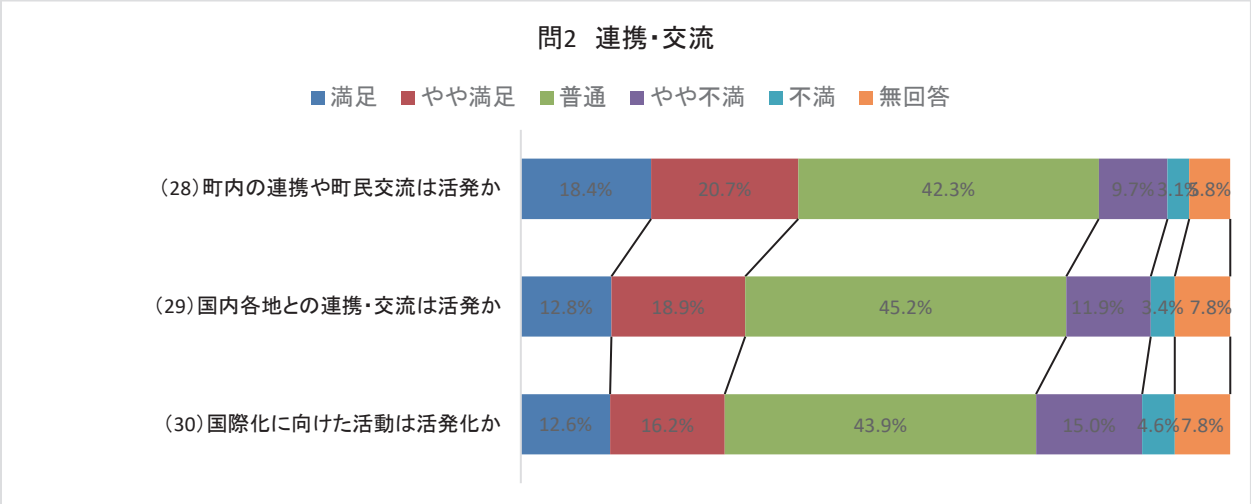


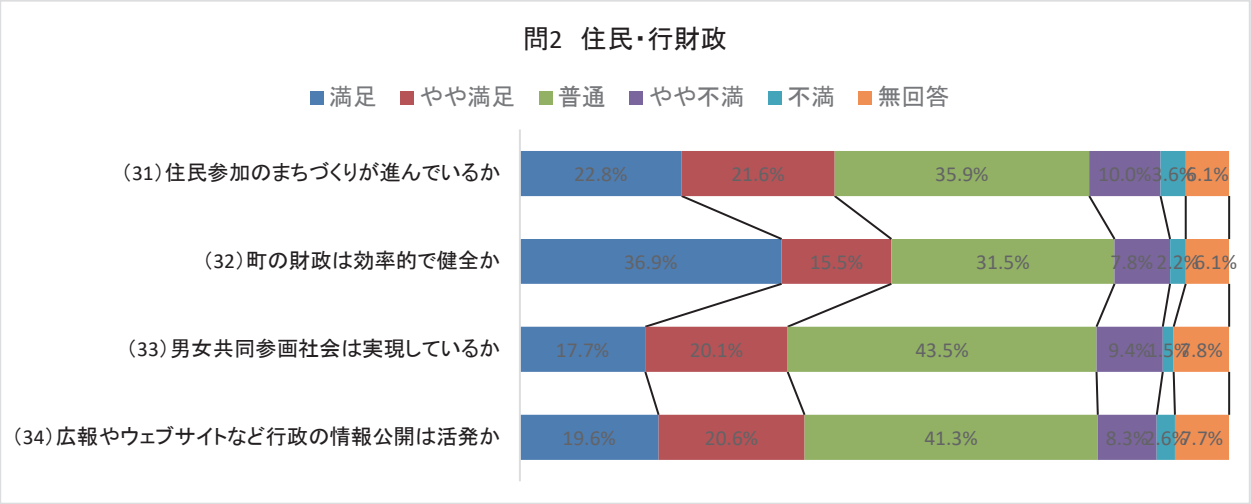




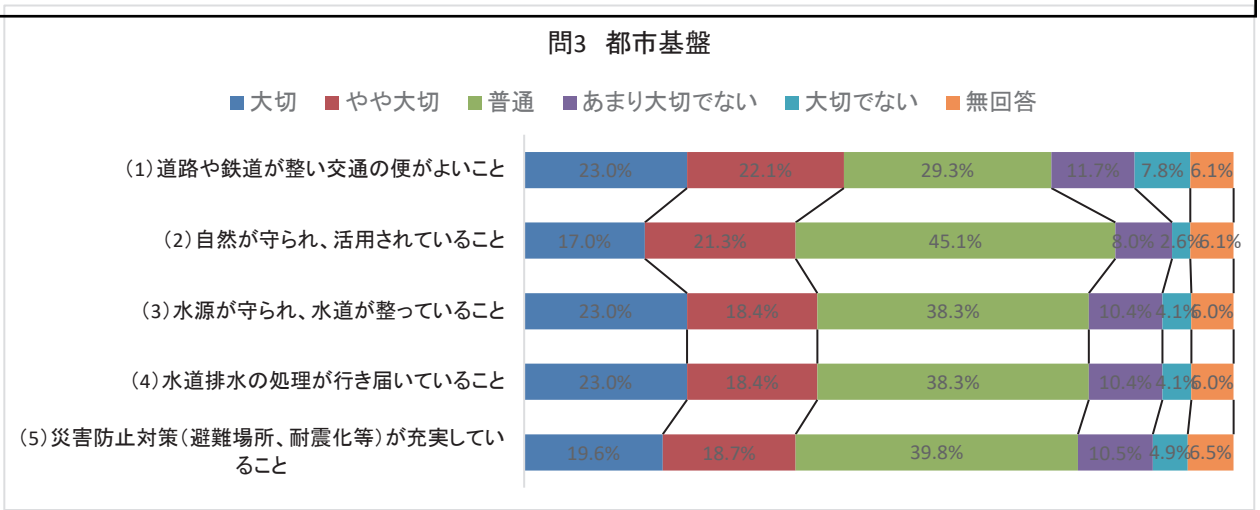


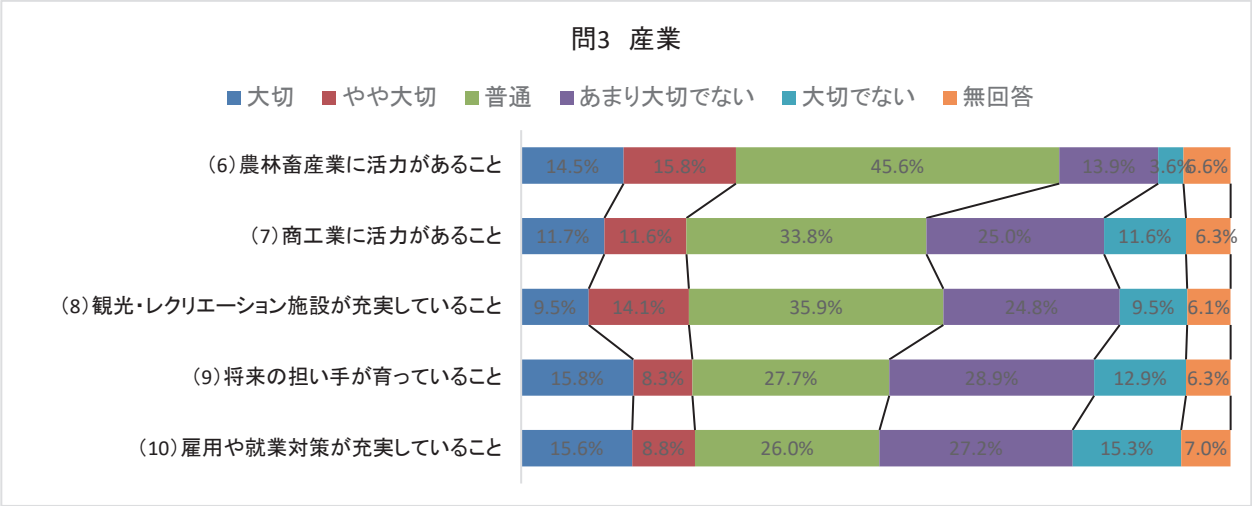

問2　教育文化
満足
やや満足
普通
やや不満
不満
無回答
(23)学校教育が充実し、子どもを育てるにはよい環境か
41.8%
14.8%
28.9%
5.4%
1.4%
7.7%
(24)社会教育や生涯学習が盛んか
23.0%
23.1%
38.1%
7.3%
1.0%
7.5%
(25)生涯スポーツが盛んか
17.3%
21.9%
44.0%
7.0%
1.0%
7.7%
(26)青少年が健やかに育っているか
33.7%
16.5%
35.0%
6.8%
0.5%
7.5%
(27)芸術・文化活動が盛んか
17.5%
22.3%
42.3%
8.5%
1.7%
7.7%

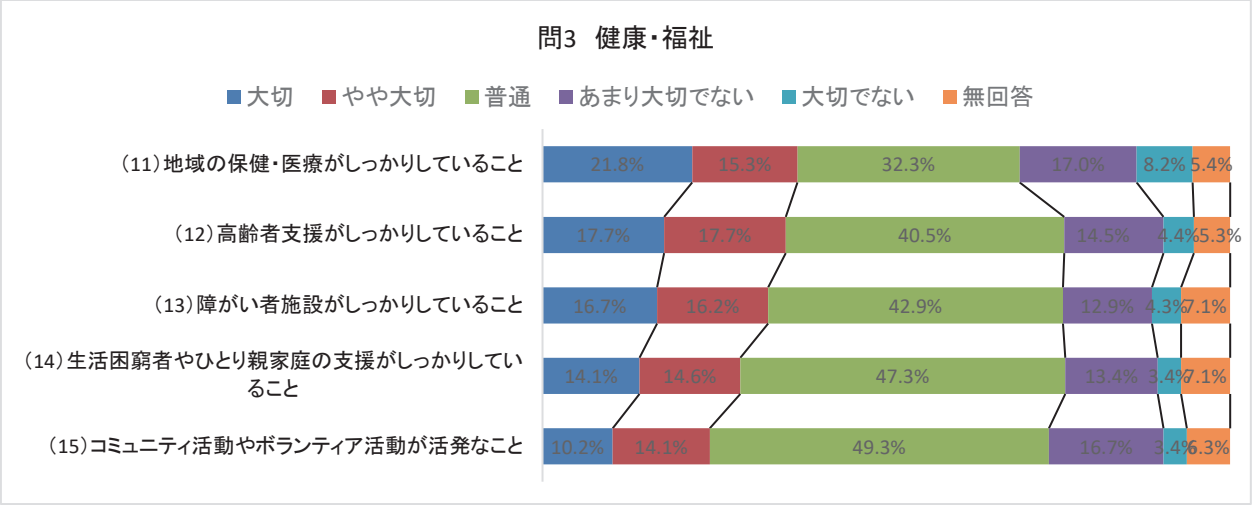

問2　連携・交流
満足
やや満足
普通
やや不満
不満
無回答
(28)町内の連携や町民交流は活発か
18.4%
20.7%
42.3%
9.7%
3.1%
8.8%
(29)国内各地との連携・交流は活発か
12.8%
18.9%
45.2%
11.9%
3.4%
7.8%
(30)国際化に向けた活動は活発化か
12.6%
16.2%
43.9%
15.0%
4.6%
7.8%

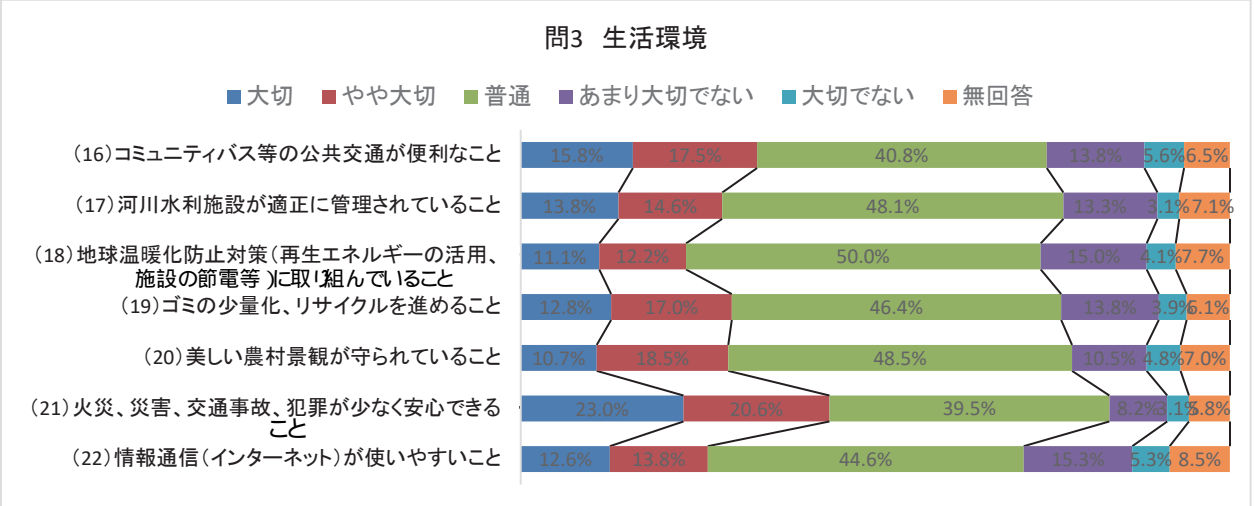

問2　住民・行財政
満足
やや満足
普通
やや不満
不満
無回答
(31)住民参加のまちづくりが進んでいるか
22.8%
21.6%
35.9%
10.0%
3.6%
6.1%
(32)町の財政は効率的で健全か
36.9%
15.5%
31.5%
7.8%
2.2%
6.1%
(33)男女共同参画社会は実現しているか
17.7%
20.1%
43.5%
9.4%
1.5%
7.8%
(34)広報やウェブサイトなど行政の情報公開は活発か
19.6%
20.6%
41.3%
8.3%
2.6%
7.7%

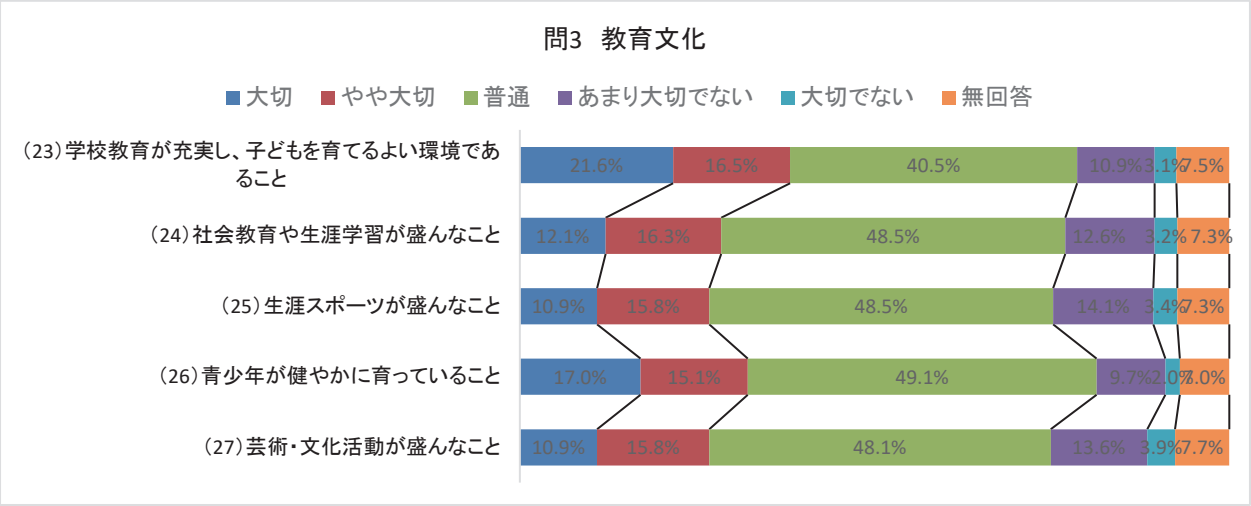
【問３】暮らしの中での「大切さ・重要性」について…『あなたが感じる暮らしの中の「大切さ、重要性」は？』

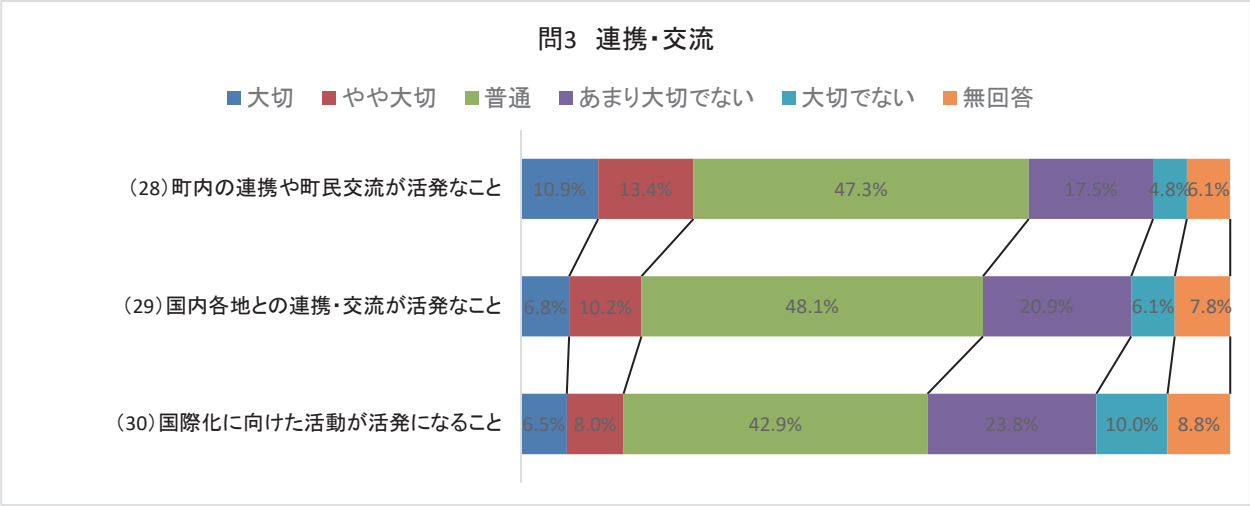


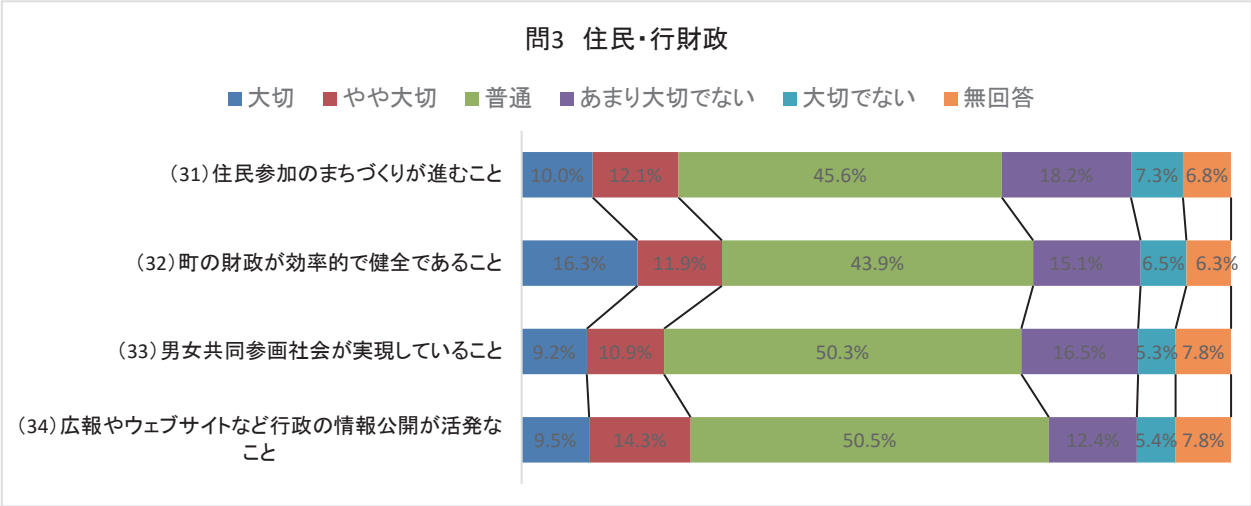




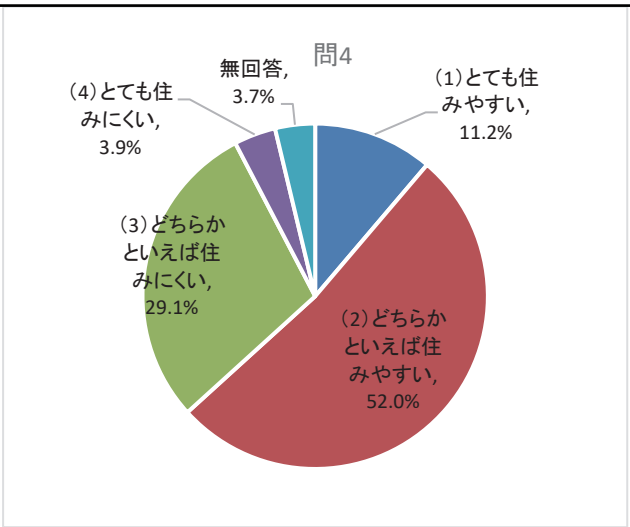



問3　教育文化
大切
やや大切
普通
あまり大切でない
大切でない
無回答
(23)学校教育が充実し、子どもを育てるよい環境であること
21.6%
16.5%
40.5%
10.9%
3.1%
7.5%
(24)社会教育や生涯学習が盛んなこと
12.1%
16.3%
48.5%
12.6%
3.2%
7.3%
(25)生涯スポーツが盛んなこと
10.9%
15.8%
48.5%
14.1%
3.4%
7.3%
(26)青少年が健やかに育っていること
17.0%
15.1%
49.1%
9.7%
2.0%
7.0%
(27)芸術・文化活動が盛んなこと
10.9%
15.8%
48.1%
13.6%
3.9%
7.7%

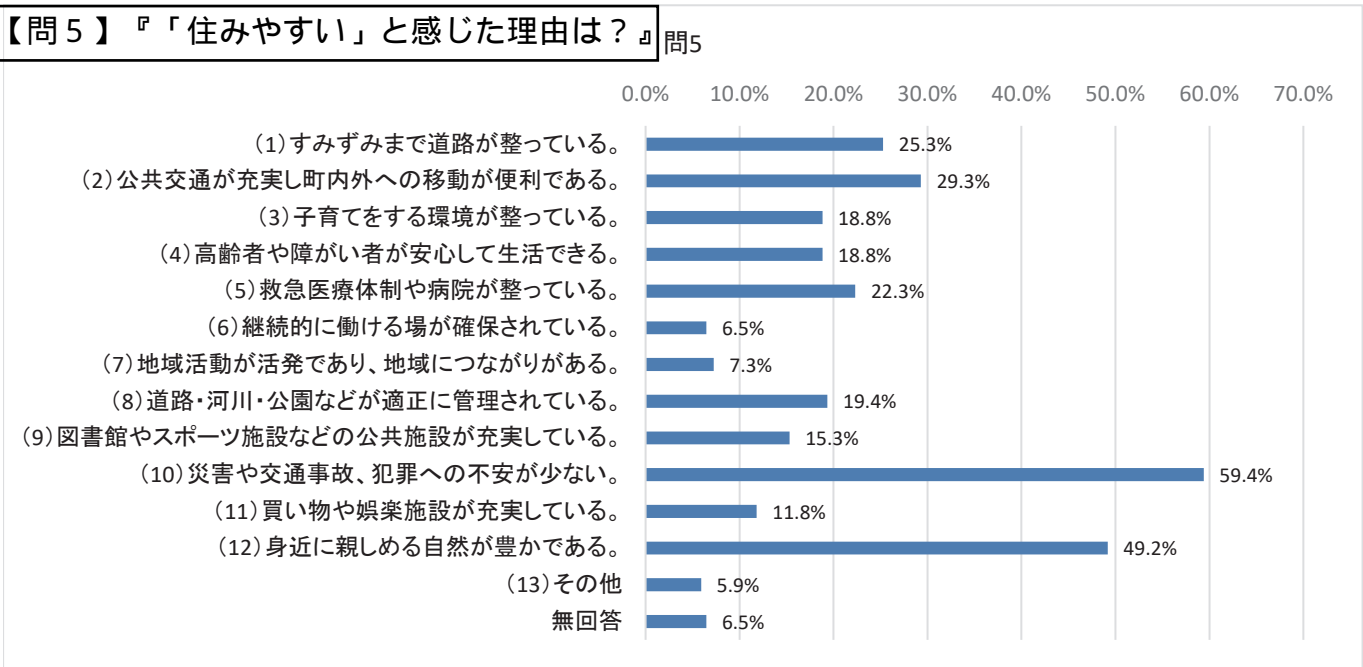

問3　連携・交流
大切
やや大切
普通
あまり大切でない
大切でない
無回答
(28)町内の連携や町民交流が活発なこと
10.9%
13.4%
47.3%
17.5%
4.8%
6.1%
(29)国内各地との連携・交流が活発なこと
6.8%
10.2%
48.1%
20.9%
6.1%
7.8%
(30)国際化に向けた活動が活発になること
6.5%
8.0%
42.9%
23.8%
10.0%
8.8%


問3　住民・行財政
大切
やや大切
普通
あまり大切でない
大切でない
無回答
(31)住民参加のまちづくりが進むこと
10.0%
12.1%
45.6%
18.2%
7.3%
6.8%
(32)町の財政が効率的で健全であること
16.3%
11.9%
43.9%
15.1%
6.5%
6.3%
(33)男女共同参画社会が実現していること
9.2%
10.9%
50.3%
16.5%
5.3%
7.8%
(34)広報やウェブサイトなど行政の情報公開が活発なこと
9.5%
14.3%
50.5%
12.4%
5.4%
7.8%

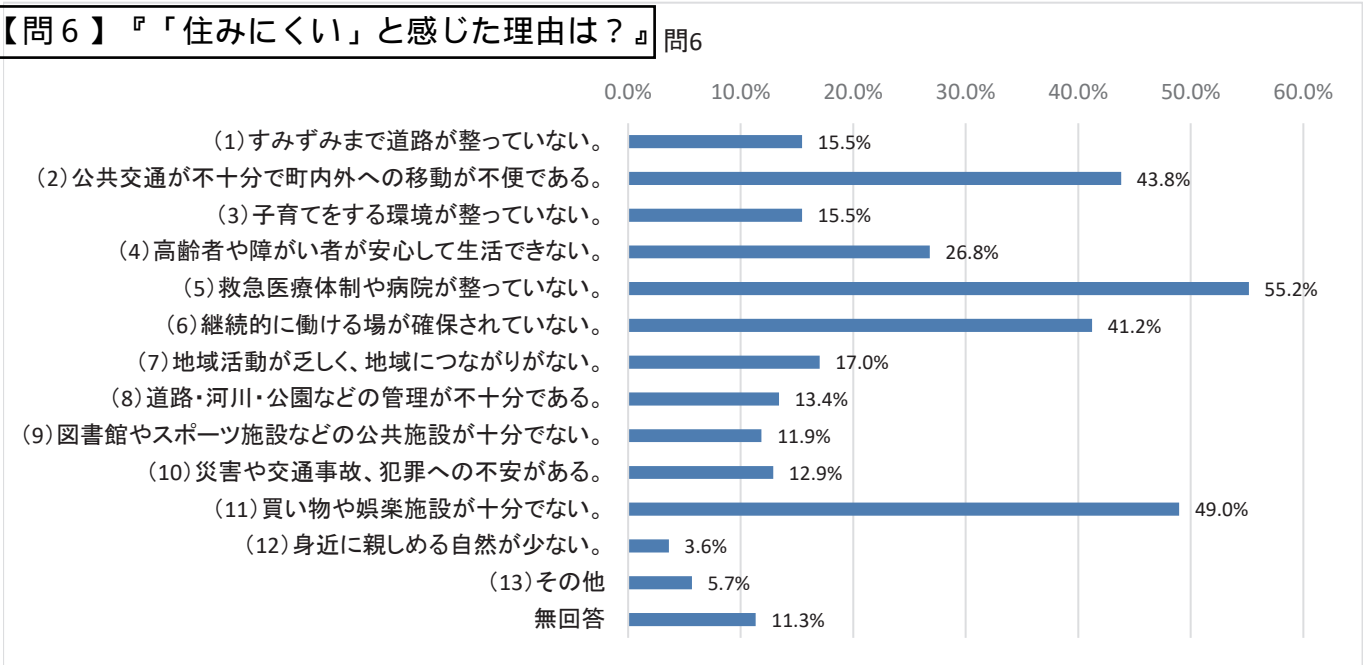
【問４】住みやすい七戸町について…『あなたにとって七戸町は「住みやすい町」ですか？』



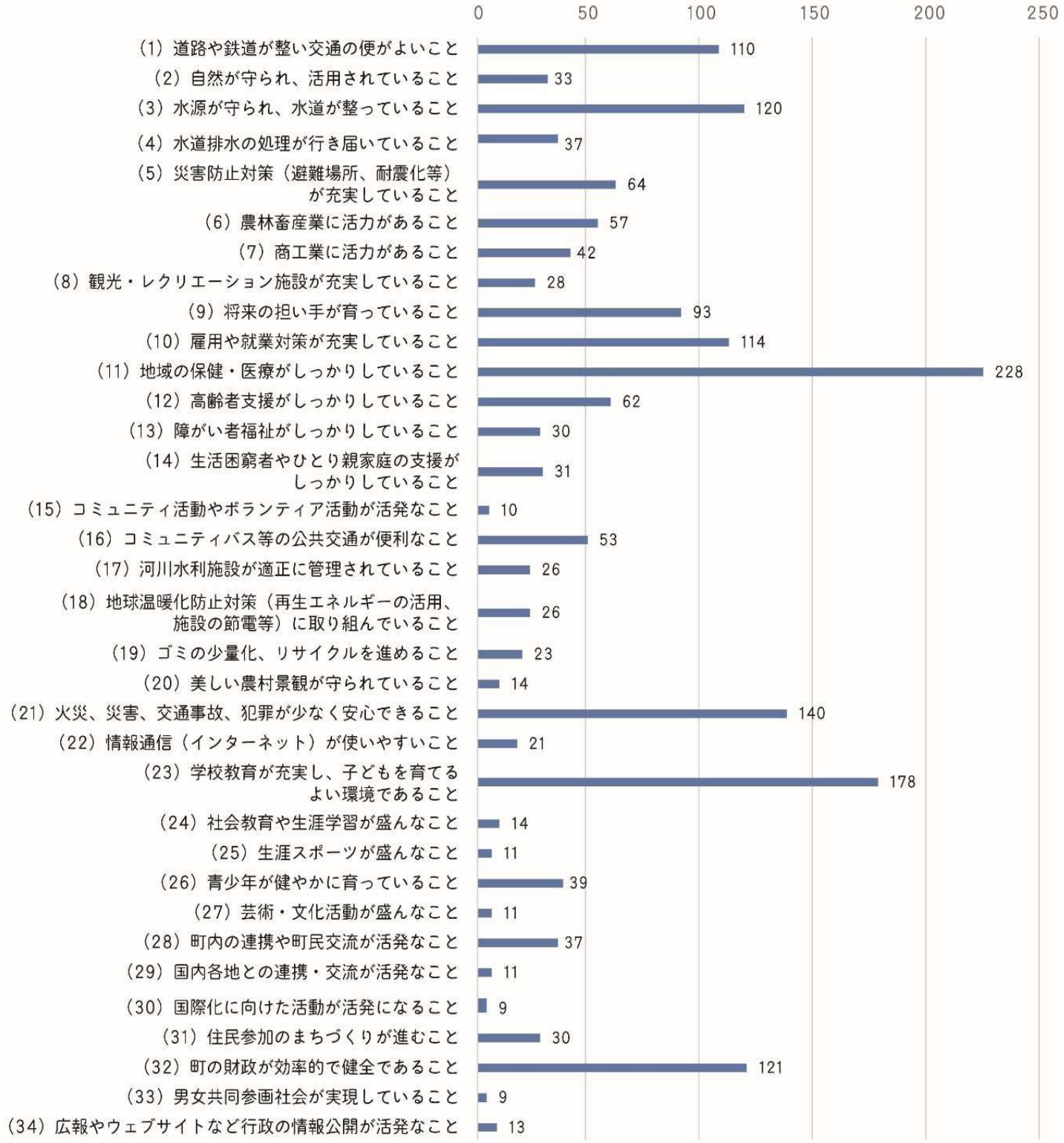
【問５】『「住みやすい」と感じた理由は？』



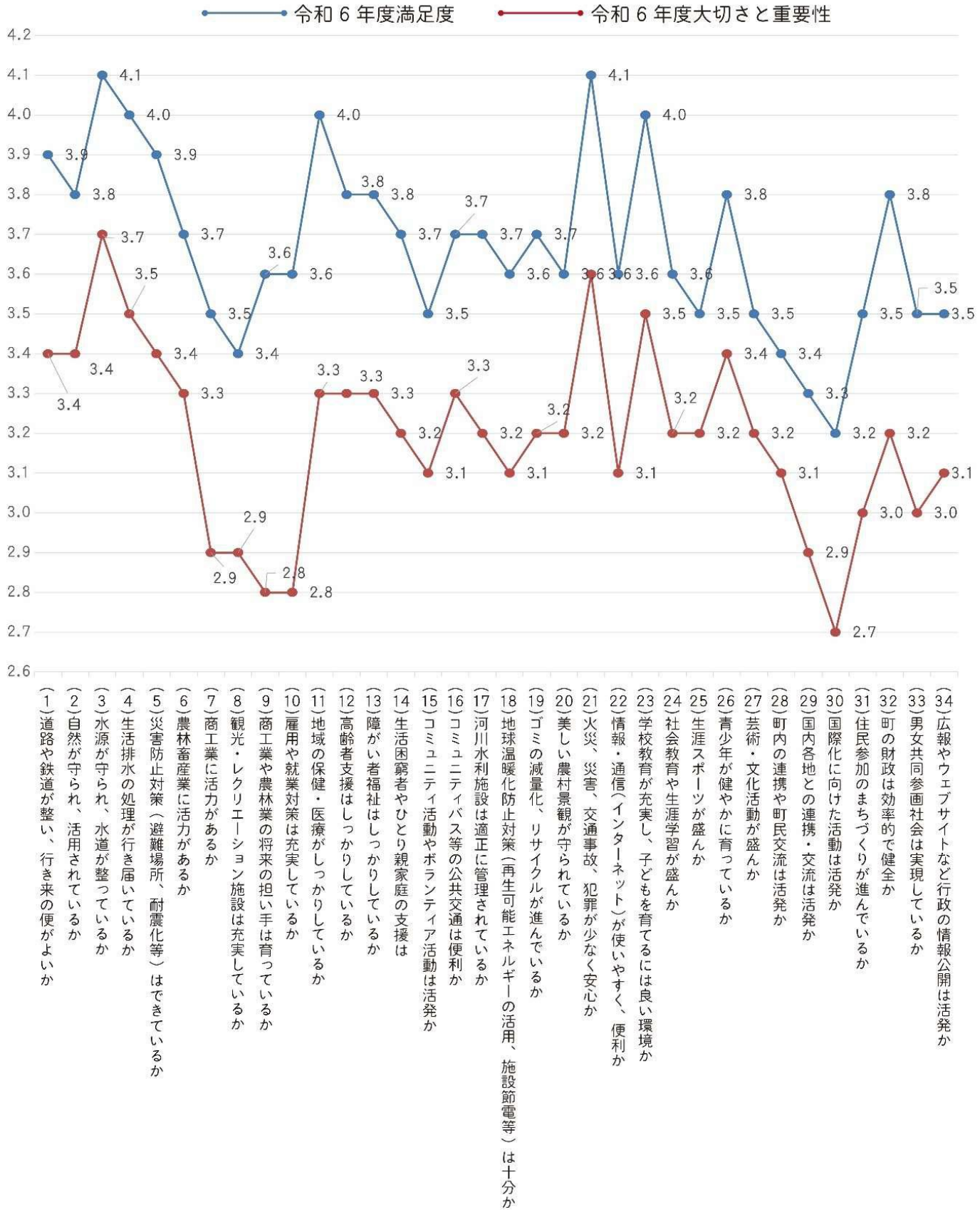
【問６】『「住みにくい」と感じた理由は？』



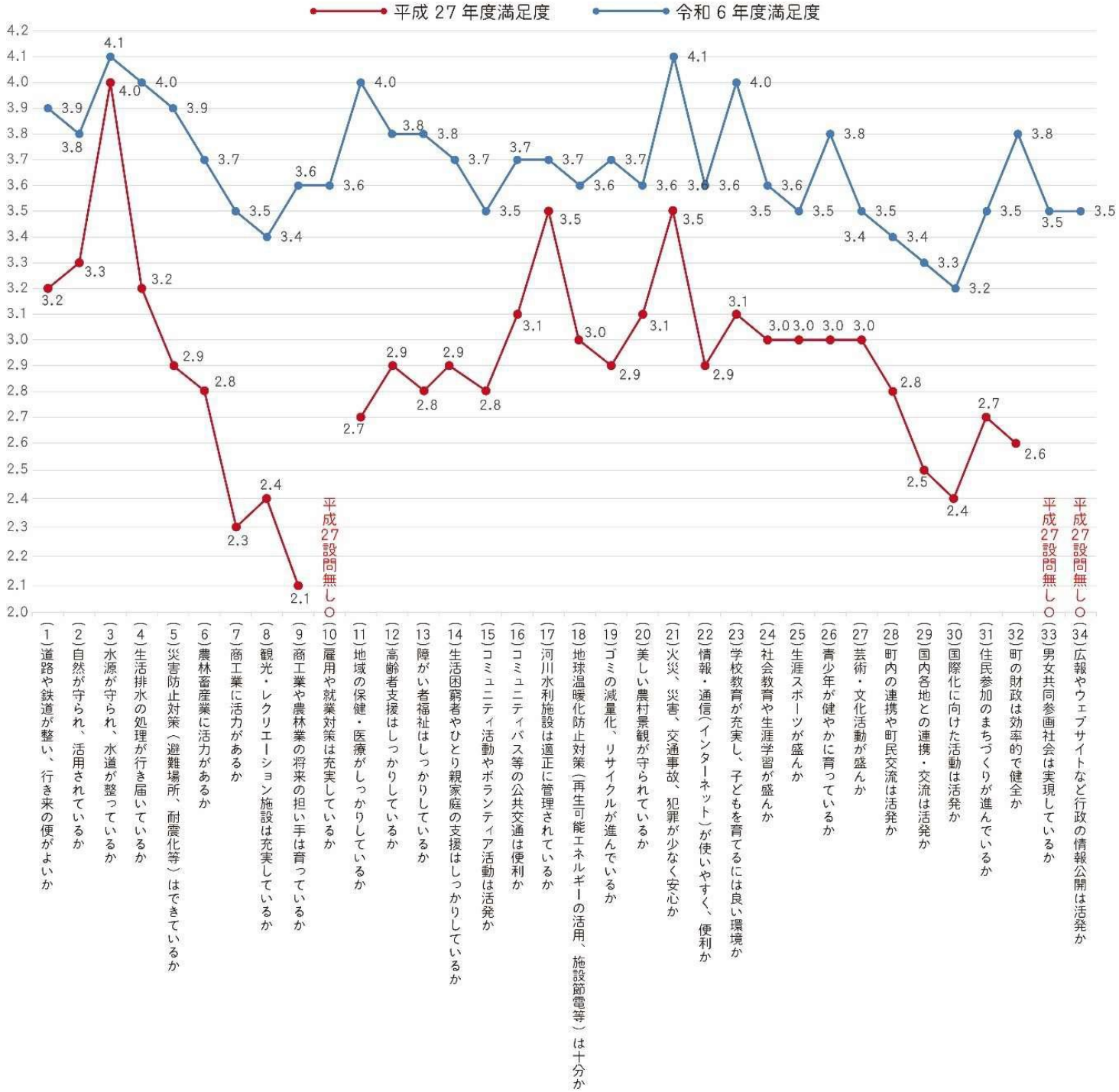
問３　暮らしの課題の中「大切さ・重要性」について
特に大切な５つ



R6 年度　満足度と大切さ重要性の比較



H27 年度・R6 年度　項目別満足度の比較



資料５

第3次七戸町長期総合計画策定のための
町民ワークショップ報告書

■　町民ワークショップの目的と趣旨

第3次七戸町長期総合計画の策定に向けて、七戸町民やこれからの行政を担う若い行政職員の、まちづくりに対する想いをきくための機会として開催しました。

ワークショップを通じて七戸町の現状に共通の認識を持ち、より良い七戸町としていくための方法について参加者間の理解を深めます。そして、七戸町の将来像について意見やアイデアを抽出し、計画策定のための基礎資料として反映させることを目的とします。

■　各回の開催概要と実施の様子

第１回　オリエンテーション

(1) 日　時　令和6年10月22日(火)　18：00～18：45
(2) 場　所　七戸町役場本庁舎　第1・2会議室
(3) 参加者　16名　（七戸町民8名、七戸町役場職員8名）
(4) 次　第
　① あいさつ
　② 参加者自己紹介
　③ オリエンテーション
　　・ワークショップ開催目的の説明
　　・ワークショップ開催時期及び各回の会議概要の説明
　　・ワークショップ注意事項の説明
　④ 質疑応答
　⑤ その他

(5) 要　旨

質疑応答では、「第2次の長期総合計画およびその概要版など、意見交換のための参考資料を提供してほしい」という意見が複数あり、概要版の配布を行いました。

また、「町民アンケートの回答率や上がった意見が知りたい」という意見に対しては、現在集計中であり、第3回目のワークショップにて速報値を提示するよう進めると回答しました。

さらに、「都合により出席できなかった方への配慮」についての意見があり、次回以降の実施方法について検討するとしました。

第２回　グループワーク①

(1) 日　時　令和6年11月19日（火）　18：00～20：00

(2) 場　所　七戸町役場本庁舎　第1・2会議室

(3) 参加者　17名　（七戸町民10名、七戸町役場職員７名）

(4) 次　第

① あいさつ

② オリエンテーション

・意見やアイデアが反映される仕組みについて説明

・グループワークの進め方の説明

・ファシリテーターの紹介

③ グループワーク

・七戸町の『光』と『影』について意見を抽出する

・まとめと発表準備

④ 各班成果発表

⑤ その他

(5) 要　旨

グループワークにおいては各班で活発な意見交換が交わされました。

全ての班をとおして、『光』については自然環境の豊かさや七戸十和田駅や高規格道路が整備され交通の便の良いこと、野菜など質の高い農産物があることなどが挙げられました。一方、『影』については、宿泊施設や飲食店などの商業施設の衰退、労働人口の減少及び町外への流出、医療福祉施設が十分といえないことに関する意見が挙げられました。

豊かな自然や広大な土地、アクセスの良さ、農産物や世界遺産などの豊富な「資源」がありながらも、それらを活かしきれていない、整備しきれていないと感じる参加者が多く「もったいない」という意見が多く飛び交っていました。

各班の特徴をみると、A班では、『光』としては町の農産物やそれらを生かした展開をしている飲食店に対する意見が挙げられ、『影』としては町の基幹産業である農業の後継者不足、働く場が少ないことから若年世代の転出が多いことに対する意見が挙げられていました。

B班では、自然や観光資源の豊かさ、交通網の充実などが『光』として挙げられ、『影』としては町内の不法投棄など環境問題に関すること、集客性のあるイベントの衰退や町の情報発信の不足、宿泊施設が少ないことなどが挙げられていました。

C班では、『光』として二ツ森貝塚や七戸城跡といった文化遺産、温泉やスキー場、乗馬ができることなど町特有の資源に対しての声が挙げられていました。一方、『影』としては、県外への人口流出や町民有志活動の減少、ボランティアが少ないことなど、町民の交流に関する意見がみられました。

七戸町の「光」と「影」

A班

交通

光

- 他市町村と比べ、除雪や道路の整備が整っている。
- 高速道、新幹線など交通の便が良い。

影

- 道路が狭い。
- 高齢者の交通手段が乏しい。（バス・タクシー等）

自然

光

- 四季を味わえる。
- 町を一歩出れば八甲田、奥入瀬渓流。温泉、種差海岸、下北半島。挙げればきりがないくらい素敵なところばかりで飽きない。うに、まぐろ、魚がおいしい。

影

- 寒く、積雪量が多く、生活に支障が出る。

居住

光

- 地域住民とのつながり、温かさ。
- 温泉が多い。

影

- 宿泊施設。（ホテルくらいあれば。）
- 高齢の方と話すと、未だ、天間だ、七戸だと話す方が多い。
- 流雪溝は有難いが、時間が決まっているのが難点。
- 新築アパートが高価な印象。

イベント・観光

光

- 二ツ森貝塚。イベント・子どもガイド、活動が盛んでよい。
- 祭りが秋・夏2種大きいのがあるのは良い。
- 世界遺産や城跡、レールバス等観光資源あり。
- レールバスのイベント、子どもは楽しい。

影

- 文化祭について。作品・農産物・その他すべてにおいて品数が少なく、文化祭にはほど遠いなと感じた。
- 町民が参加したくなる企画や行ってみたいと思える事にお金をかけ、何もないと言われているところでも心豊かに暮らしたい。
- イベントが少ない。

医療

影

- 医療施設が少ない。
- 高度医療病院まで遠い。

駅周辺

光

- 美術館。企画展多く開催している。
- 駅があり、交通の利便性が高い。
- 道の駅。お店が充実。おみやげ・食事。
- 駅周辺の発展。
- 駅がある。周辺も道の駅や体育館などがある。
- 道の駅の評判が良い。

影

- 道の駅駐車場、運転しにくく、通行が分かりにくい。
- 駅周辺がさびしい。

子育て

光

- 町内に小学～高校が揃っている。
- 高校に学習塾がある。

影

- 出生数の減少は深刻だ。
- 中高生のたまり場がない。
- 若年世代の転出が多い。
- 若者向けの娯楽施設がない。
- 子どもが少ないため、部活やクラブ活動の選択肢が少ない。
- 土・日に子ども連れで遊ぶ所が少ない。
- 子ども達から高校生まで七戸町に（青森県）戻って、ここで子育てしたいと思える、夢のある町になっていない。

飲食

光

- 自然が豊かでながいもやニンニクが豊富。
- 食べ物が美味しい。（野菜類、肉）
- ランチのお店が多いと思う。
- ナミキジェラートおいしい！
- おいしい農産物がある。（にんにく、長芋など）
- 酒蔵がある。
- ナミキジェラートなど、自然のものを活かしているところ。

影

- 他市町村と比較して、飲食店が少ない。
- 個人経営店の減少。
- 夜、開いている飲食店が少ない。

労働

光

- 高齢でも農家を続けて頑張っている。
- 農家をやりたい人には充分すぎる土地がある。地球温暖化を食い止める作物を育てても良い。

影

- 農業以外の経済基盤。
- 後継者不足。（農地の荒廃）
- 地元で働く人が少ない。（町外で働く人が多い。）
- 働く場所がない。
- 子ども達が働きたいと思える企業がない。もしあったとしたらもっと PR をしていただきたい。例えばアニメ制作会社、IT、スマート農業会社。

七戸町の「光」と「影」

B班

自然

光

- 自然が多く美しい。
- 水田、畑など景観が良い。
- 自然が豊か。
- ごみが道に落ちていない。
- ふれあい公園。（人が集まる。噴水修理して。）
- 町の面積が広い。
- 森林公園。（人が集まる。）

影

- 山のゴミ。不法投棄。
- 虫が多い。
- 農業が主産業なのにもかかわらず、日本一のにんにくはどこへ。
- 道端のゴミ。
- 獣害が怖い。
- （農業振興）日本一をつくってくれ。
- （農家以外も）ゴミ燃やすな。（農家には厳しいのに。）
- 自然や動物と触れ合う体験がない。
- 畜産業が盛ん。→家畜ふん尿の処理問題→リサイクル資源化の促進。（堆肥化等）
- ・地球温暖化への取組の推進
  ・脱炭素社会への取組
  →EV車や廃棄物の資源化等。
- 災害が発生することが増えてきている。

観光

光

- 伝統文化が多い。（ナニャドヤラ等）
- 祭りが多い。
- 道の駅がにぎわっている。
- 世界遺産がある。
- キャンプ場がある。
- 七戸町のキャラクターがかわいい。
- 町立の美術館がある。
- スキー場がある。
- NAMIKIのジェラートがおいしい。

影

- 商店街ににぎわいが少ない。
- 日本中から人が集まる場所づくり。（ハーフパイプ、障害物競走）
- 観光でみる所が少ない。
- 町外から人が集まるイベント、なぜやめる。（そば博、クボタ祭り）
- ご飯を食べるところが少ない。
- 宿泊施設（ビジネスホテル等）が少なく、観光・出張で来られた方が留まらず、近隣でお金を落とす。
- ネットでのアピールが少ない。
- HPが分かりにくい。

交通

光

- 東京まで3時間で行ける七戸十和田駅がある。
- 新幹線の駅、上北道、みちのく有料道路、下北道と交通の利便性が良い。
- 有料道路高速がある。
- 新幹線が通る。
- 新幹線の駅が近い。
- 交通網が整っている。

影

- 道が分かりづらい。
- 町外に行く公共交通機関が少ない。
- 車がないと不便。
- 南部縦貫鉄道をなくした。（2億円で残せた。）

生活

光

- 温泉が多い。
- 町の人たちのつながりが強い。
- 食べ物（野菜）がおいしい。
- お年寄りが元気。
- 小中学校の給食費が無料。
- 待機児童がいない。

影

- 地域。町内会とのつながりが薄れてきている。
- 働ける場所が少ない。
- 外国人労働者が増えている→外国人の方たちは暮らしやすい…？
- アパートが少ないイメージ。
- 買い物する場所が少ない。
- ひとり暮らしの高齢者が増えてきている。
- 人口が減ってきている。
- 七戸・天間で施設にばらつき。
- 普段遊べる場所が少ない。
- 服を買う所が少ない。
- 子どもが少ない。
- 産婦人科が無い。
- 祭りに参加する人が少なくなっている。
- 室内の遊ぶ場所が少ない。

七戸町の「光」と「影」

C班

商業

光

- まあまあ巨大スーパーがある。
- 道の駅が大人気。
- 道の駅の野菜が豊富。

影

- 飲食店が少ない。
- 駅前が閑散としている。
- カレー屋がない。（飲食店の選択肢が少ない。）
- 異業種間の交流が少ないと思う。
- 商店街がさびしい。
- アパートが少ない。
- 鮮魚店が少ない。
- 宿が少ない。

文化

光

- 地域内スポーツ
  - ・朝野球
  - ・ナイター○○
- 二ツ森貝塚がある。
- 七戸城跡がある。

影

- 町民有志の活動が少ない？
- ボランティアが少ない。集まりにくい。
- 歴史的・文化的遺産を活かす。

自然

光

- 農業が盛ん。
- 景色が良い。八甲田が近い。
- 豊かな自然。
- 四季を感じやすい。
- 温泉がある。
- 夏に涼しい。
- スキー場がある。
- 水がおいしい。（天間は特に。）
- 乗馬ができる。

影

- 積雪量の多さ。
- 夏暑く、冬寒い。

交通

光

- 青森県の中央に位置している。
- 県内アクセスが良い。道路、新幹線。
- 高速道路が通っている。
- 新幹線がある。
- 車の運転がしやすい。

影

- 町内の公共交通の手段がほぼない。
- 歩道が狭い。
- 電車の駅がない。（遠い）
- 信号機のない交差点が多い。
- 空港へのアクセスが悪い。

人口

影

- 県外への人口流出。
- 人口減少率が近隣町村より大きい。
- 県外への就職が多い。

福祉

光

- 教育支援の充実。
- 公営塾。

影

- 図書館が小さい。
- 介護保険料が高い。
- 短命である。
- 少子化。
- 産婦人科がない。

第３回　グループワーク②

(1) 日　時　令和6年12月19日（木）　18：00～20：00

(2) 場　所　七戸町役場本庁舎　第1・2会議室

(3) 参加者　16名　（七戸町民９名、七戸町役場職員７名）

(4) 次　第

① あいさつ

② オリエンテーション

・第１回、第２回ワークショップ報告書の共有

・前回のグループワークで出た意見の振り返り

・町民アンケートの集計結果（速報版）の共有

・今回の作業確認と注意点のおさらい

・ファシリテーターの紹介

③ グループワーク

・七戸町の『光』をさらに良くするために、『影』を改善するために必要なことについて意見を抽出する

・まとめと発表準備

④ 各班成果発表

⑤ その他

(5) 要　旨

グループワークにおいては、各班で活発な意見交換が交わされました。

全ての班を通して、七戸十和田駅周辺の環境整備や除雪体制の強化も含め交通環境の整備を促進すべきという意見、既存施設や資源を活用した町の活性化につながるイベントの企画を求める意見、少子高齢化の現状を踏まえたうえでの体制・環境づくりが挙げられました。「影」の部分を改善するために、新しいものを創出しようとするのではなく、今ある豊富な資源を基盤として、それらをどのように展開していくべきかという視点からの意見が多く挙げられていました。

各班の成果をみると、A班では食産業に関して、飲食店を増やすことや町の農産物を活かした新商品を開発するという意見が挙げられました。

また、町の雇用確保につなげるため、教育機関と連携した職場体験及び見学や農業に触れる機会を創出することなどが挙げられました。各分野においては、最終的に「七戸町への定住」につながることに焦点を当てた意見がまとめられていました。

B班では、豊かな森林や地形（立地）を活かして自然を体験できる機会の創出や、教育機関と連携した環境保全活動の推進、さらに、「動物」に着目して新たな観光資源とするとともに、エサとなる食物から農(水)産業の振興にもつなげるという意見が挙げられました。町の情報発信にはSNSの活用に加え、他県市町村と協働して取り組むという意見も見られました。

C班では、新たに事業を始める人や有志団体など、町づくりや地域活性化に対してより積極性のある町民に対する支援体制及び環境づくりを推進する意見や農産物のGI（地理的表示保護制度）取得や文化遺産と集客性のあるイベントとを結びつけるなどして、資源の付加価値を高めるという意見が挙げられました。町をより良くするための取組みとして挙げられた意見は、全て「町民のシビックプライド(地域に対する誇り)を高める」ことにつながるとしてまとめられていました。

七戸町の
「光」を良くするためには？
「影」を改善するためには？

A班

① 駅・宿泊

- 駅周辺に役場をもってくるのではなく、若い住人が住める様な工夫をする。商店が増えると思う。
- 駅周辺の駐車場の増加！
- 滞在型観光プランの充実。
- 宿泊施設を増やしたい。

② イベント

- もっと住民が楽しく幸せな気持ちになるようなイベントを考え、工夫してほしい。
- 町民が参加したくなるような企画、イベントがほしい。
- イベントリレーなどをして、全イベントに参加できるようにする。
- 飲食店の活性化のためのイベント（ドリンクラリー等）。
- 人が集まりやすい駅や駅周辺（総合アリーナ等）でのイベントを増やす。
- アリーナや運動公園を活用したイベントの開催。

③ グルメ

酒

- 飲食店を増やしたい。
- 多くの人たちがほしがる土産の開発、充実。
- 七戸に来ないとのめない酒の製造。
- 七戸の食材を生かしたお店（飲食店）を増やす。
- 天間が黒にんにく発祥の地であるPR。
- 酒（日本酒）の開発に力を入れたら、もっと世界に出ていける。
- 飲食街のようなものをつくる。一か所行けば用が済むように。
- 質が良い農産物。そのままで。
- ナミキ
町民考案の味を取り入れてみる。

④ 定住 生活基盤

職業

- リモートでできる仕事を東京でやっている町出身の子育て世代が、戻ってここで仕事できるようにする。
- 地域の職場見学。（小・中・高生対象）
- 農業の後継者への支援を増やす。
- 職業体験ができる機会を増やす。（学校教育）
- 農業の楽しさを教える。種から植え、育て、収穫まですべてやってもらう。
- 職業相談ができる機会を増やす。

娯楽

- 駄菓子やレトロゲームの店。
- 娯楽施設がほしい。
- 土・日・祝日に子どもたちが遊べる施設を増やす。

医療福祉

- 高度医療病院を増やす。
- 100円バスを誰ものっていないのにICT交通にする。
- 商業施設や病院等への乗合バス・タクシー、巡回バス・タクシーの充実を図る。
- タクシーを増やす。（バスより利便性がある）
- 高度医療施設へのアクセス道整備（優先車線）。
- 高齢者向けの交通手段を増やす。（タクシー・バス）
- 高度医療機関医師を派遣する。

整備

- 車道・歩道。
- 歩道の除雪がいつもされていないことが多い。役場（天間林）の近く。
- 歩道の除雪をして欲しい。

七戸町の
「光」を良くするためには？
「影」を改善するためには？

B班

自然・環境

- 徹底したスマート農業化。
- ごみ問題優良者を表彰など。
- ゴミ問題は小中学校の教育から。
- 家畜ふん尿等の悪臭問題。堆肥化施設や再資源化施設導入への助成や支援。
- 全作物有機栽培。
- 山のごみ不法投棄。県、警察、廃棄物団体との連携強化。罰則の周知と強化。
- 地球温暖化対策。分ければ資源、混ぜればゴミ、分別を身近に感じ、大切さを実感してもらえる場の提供や教育の実施。デコ活の推進。
- 自然や動物と触れ合う体験が少ない。
  - ・周知方法の見直し。
  - ・他の所とのコラボ。
- ふれあい公園の整備。
  - ・噴水。
  - ・高い木を切りブルーベリーを増やす。

観光

- 道の駅や家族旅行村にミニ動物園などを作る。
- 新たな観光地の創出と投資。
- ・グリーンツーリズム。
  ・農家民宿。事務局必要。
- 今ある観光資源の活かし方、見せ方のさらなる検討。
- 自然、地形を利用したイベント。
  例）
  - ・自転車坂バカ
  - ・トレッキングラン
- 道の駅駐車場がもっと広いとよくなる。
- 道の駅がにぎわっている。
  - ・イベントの継続と周知。
- 新しい店を出しやすい体制づくり。
- 商店街に賑わいが少ない。
  →イベントの企画。
- 空き家を改装し、宿の代わりに。
- ビジネスホテル誘致に向け、業界等へのアピール。優遇措置の検討。
- ペンギン村。
- ・車がなくても行ける。
  ・観光名所をめぐるバスの運行。
- SNSの利用。
- キャンプある、スキーある、美術館…。
  →もっとアピール。

生活

- 町のユーチューブチャンネル開設。他県市町村とのコラボなど。
- 温泉+カフェがあると若い人が来そう。
- 若い人が集まりたくなるカフェ。
- 町内でできた農作物を活用したものが食べられる場所があるとよくなる。
- 町の魅力をもっとつくる。
  ＋
  魅力を伝えるためのアピール方法。
- 温泉を活かしたツアー等。
- 小中学校の給食無料。
  →子育て世代に選ばれる町に。
- 子供を産みやすい、育てやすい環境づくり。
- 七戸病院の診療科、医師の充実。
- 一人暮らしの高齢者。
  →孤独死の防止。
- スーパー・デパートの誘致。
  →買い物する場所の増加、雇用促進。
- 働ける場所が少ない。
  - ・町からの委託を増やす？
  - ・新しい開業？

交通

- 駅周辺の発展。
- 乗合タクシーがあると町内の移動が活発になる。
- 交通標識、看板の設置。
- 冬、歩道の除雪はきちんと。
- 大動脈（新幹線）を活かした交通整備。
- 掲示板を立てる。SNSに詳細な地図。

七戸町の
「光」を良くするためには？
「影」を改善するためには？

C班

商業

- 駅前の空き地に何か作りたいと思えるような政策立案。
- 異業種間交流。商工会や農協などで産業振興について議論を深めることが必要である。
- 農業が盛ん
  →後継者不足を防ぐためのサポート。
- 飲食店や宿を開業する人への補助金。
- 道の駅近くに競合しない、お金を落とす交流場を作る。
- 野菜が豊富
  →価値を高める魅力ある農業。
- 飲食店が少ない
  →チャレンジ出店、曜日別オーナー等のチャンスがあれば、始めるハードルは下がるかな？
- 交流の場を増やす。
- 農作物の GI 取得。
- PR の仕方を工夫する。

文化

- 町づくりや地域の活力化に自主的に活動できるような支援体制を進める。
- 町民有志の活動が少ない。
  →個々の意識を高めるような教育を続ける。
- 有志団体の交流を増やすため定期総会をする。
- 観光地でのイベントを増やす。
- 二ツ森貝塚
  七戸城跡
  →野外フェスをする。
  （食べ物、音楽）
- 眠る絵馬の活用。
- 地域内スポーツの景品（参加賞）を豪華にする。

自然

- 楽しく楽ちんな雪かきをできる講座？
- 除雪を頼みやすい環境作り。
  （民間、行政等）
- 除雪を手伝ってくれる人の確保。
- 町の温泉のイメージがないので、団体を作り、町として売り出す。
- 地球温暖化防止活動をする。
- 夏に涼しい。
  →避暑地としての活用。

福祉

- シビックプライドを高める。
- だし活、健康教室の実施。
- 食生活改善、体力づくり等、楽しく楽ちんな講座とか、継続できるもの。

人口

- 地元の様々な業種を知る機会を増やす。
- リモートワークなど、様々な働き方があることを知ってもらう。
- 産業対策や起業など、多方面からの協働が必要。
- 子育て支援は補助金も大事だがマンパワーによる。ソフト面からの支援を強化すべき。

交通

- 電車の駅を作る。
- 観光地への道路広くてわかりやすいものを整備する。
- 七戸北 IC が主要道路の交点になるので、何か作る。

第４回　グループワーク③

(1) 日　時　令和7年1月24日（金）　18：00～19：00

(2) 場　所　七戸町役場本庁舎　第1・2会議室

(3) 参加者　14名　（七戸町民７名、七戸町役場職員７名）

(4) 次　第

① あいさつ

② 全体説明

・第３回ワークショップ報告書の共有

・前回のグループワークで出た意見の振り返り

・今回の作業内容の説明

③ グループワーク

・第３回で挙げられた様々な意見の中から「特に取り組みが必要」「重要度が高い」と思う項目を取り上げ、実際に長期総合計画へ掲載することを想定して文章化する。

・発表準備

④ 各班成果発表

⑤ 町民ワークショップの総括

(5) 要　旨

A班では、特に取り組みが必要な項目として「生活基盤」を取り上げました。楽しいと思えるイベントの開催や気軽に参加できる地域交流の場を増やすこと、学校と連携し町内の職業に触れる機会を増やすことなど、人が集まる取り組みを促進することで「町民が住んで良かったと思えるまちづくり」を目指すとしました。

B班では、項目として「生活」を取り上げ、その中で特に「魅力を伝えるためのアピール方法」について挙げられました。町が強く推すものを明確にし、誰に向けての情報なのかターゲットを絞って広報活動を行うこと、また自然、文化、産業など項目ごとに尺の短い動画を制作するなど、情報発信の効果をより高いものとすることで町の魅力を多くの人に知ってもらい、町の活性化につなげるとしました。

C班では「シビックプライドを高める」ことを強調しました。シビックプライドは、地域に対して住民が誇りに思う気持ちや愛着、さらに地域に貢献したいという意識のことを指し、地域の活性化のためには、まずそこに住む住民が地域について知ることが第一であるとしました。そして住民が一体となってよりよい町を目指すべきという思いから、「地域を知り　共に創ろう」というキャッチコピーにまとめました。

A 班

1 選んだ項目

『生活基盤』

2 文章・キーワード・キャッチコピーなど

「町民が住んで良かったと思えるまちづくり」

・楽しいと思えるイベントの開催。

・活発な（行きやすい）地域交流の場を増やす。

・小、中学校で町内の職業体験（見学）の場を増やす。

B 班

1 選んだ項目

『 生活 』

魅力を伝えるためのアピール方法

2 文章・キーワード・キャッチコピーなど

・町でのおしは何か。

・見る人に的を絞った広報活動。

・尺の短い動画を項目ごとにたくさん作る。

（お祭り、自然、農業、文化、遺産）

C 班

1 選んだ項目

シビックプライドを高める

2 文章・キーワード・キャッチコピーなど

地域を知り　共に創ろう

資料６

第3次七戸町長期総合計画策定のための
高校生ワークショップ報告書

■　高校生ワークショップの目的と趣旨

第3次七戸町長期総合計画の策定に向けて、次世代を担う若い世代の、まちづくりに対する想いをきくための機会として開催しました。

ワークショップを通じて七戸町の現状に共通の認識を持ち、より良い七戸町としていくための方向性について参加者の理解を深めます。そして、七戸町の将来像について意見やアイデアを抽出し、計画策定のための基礎資料として反映させることを目的とします。

■　各回の開催概要と実施の様子

第１回　オリエンテーション

(1) 日　時　令和7年1月22日(水)　14：25～15：15
(2) 場　所　青森県立七戸高等学校　多目的室
(3) 参加者　13名
(4) 次　第
　① あいさつ
　② オリエンテーション
　　・町人口の推移や町が取り組む施策についての概要説明
　　・ワークショップ開催目的の説明
　　・ワークショップ開催時期及び各回の会議概要の説明
　　・ワークショップ注意事項の説明
　③ その他

第２回　グループワーク①

(1) 日　時　令和7年1月29日(水)　13：25～15：15
(2) 場　所　青森県立七戸高等学校　多目的室
(3) 参加者　13名
(4) 次　第
　① 開会宣言
　② オリエンテーション
　　・グループワークの進め方の説明
　③ グループワーク
　　・10年後の七戸町において「良くなりそうなもの」「悪くなりそうなもの」について意見を抽出する
　　・まとめと発表準備
　④ 各班成果発表
　⑤ その他

(5) 要　旨

グループワークにおいては、各班で活発な意見交換が交わされました。

全体傾向として、「良くなりそうなもの」では、道の駅や七戸町総合アリーナなど七戸十和田駅周辺の発展、町の基幹産業である農業の活性化や新たな事業の展開を期待する意見が挙げられました。「悪くなりそうなもの」では、人口減少及び少子高齢化が進むことにより、町産業の衰退や学校の統合、町の活気がなくなってしまうことなどが挙げられました。

各班の特徴をみると、A班の「良くなりそうなもの」では、高齢化を肯定的に捉え、高齢者施設や医療施設が充実し、手厚い支援を受けられるという意見が挙げられました。一方「悪くなりそうなもの」では、人口減少が進むことにより、学校のみならず交通機関や銀行などが集約、統合されることで生活が不便になるという意見が挙げられました。

B班の「良くなりそうなもの」では、二ツ森貝塚や七戸城跡、秋祭りなど、町の歴史や文化的側面が観光資源として発展することを期待する意見が挙げられました。一方「悪くなりそうなもの」では、人口減少により行事の運営が困難になり無くなってしまうことや、それによって町民の交流が減っていくという意見も挙げられました。

「良くなりそうなもの」に挙げられた意見は、「良くなってほしい」や「良いものであり続けてほしい」という期待が反映されている意見が多くありました。

また、「娯楽」分野の意見には、高校生ならではの視点が現れていました。

私たちが考える 10年後の七戸町

A班

１０年後に良くなりそうなもの

福祉
- 高齢者施設が充実する。
- 人口が減って逆に面倒が見やすくなる。
- 医療施設が増える。

駅周辺の発展
- 道の駅が充実している。
- 七戸十和田駅周辺の発展。
- 駅のまわりに建物が増える。

交通
- 道路が作られ、他の市町村への移動がしやすくなっている。

環境
- 自然が豊かになる。

農業
- 農業が盛ん。（田、野菜など）

新しい事業
- 馬を生かした事業をする。

商業施設
- 宿泊施設が増える。
- スキー場を広くする。
- 大手企業が入ってくる。マクドナルドなどのチェーン店。
- アリーナがもっと流行しそう。

１０年後に悪くなりそうなもの

産業
- 農家さんの後継ぎが少なくて、食べ物が減りそう。
- 荒地が増える。

娯楽施設
- 学校の周りに遊べるところがない。
- 若者向けの施設が少ない。

- 商店街周辺の店がなくなる。

少子高齢化
- 若者が都会に移住。
- 若者が少ない。
- 少子高齢化の進行。

合体して不便になるもの
- バスの便が減る。
- 学校の統合。
- 銀行が全部一緒になって、１つになってしまう。

私たちが考える 10年後の七戸町

B班

１０年後に良くなりそうなもの

物価
- 東京などよりも、さらに物価が低くなる。

駅周辺
- 駅の周りが発展していく。
- 七戸十和田駅を利用する人がいると思う。
- 駅周辺の土地開発。

観光
- 二ツ森貝塚が有名になると思う。
- 城跡に人が来る。
- 観光客が増える。(特に冬)
- 秋祭りの集客数が増える。

農業・事業
- 畑や田んぼが増えて、生産量が増える。
- 事業を活性化すれば色んな物が良くなりそう。
- 農業や畜産業への待遇。
- 転入者数が増える。(30 ～ 50 歳)

交通
- 歩道が歩きやすくなる。

娯楽・施設
- 高校生が放課後に遊べる場所が増えそう。
- 大型商業施設ができる。
- チェーン店が入る。
- 土地の利用。

１０年後に悪くなりそうなもの

行事
- 町の行事が無くなっていく。
- 若者が減り、町の行事の運営が難しい。
- 町民の交流がなくなる。(祭りやイベントが少なくなる。)
- 祭りに参加しない人が増え、存続の危機。

教育
- 小学校が合併しそう。
- 小学校が減る。
- →七戸高校に来る人が減る。

交通
- バスの本数がより少なくなる。
- 交通網が悪くなる。
- 道路が悪くなりそう。

人口
- 人口が減少する。
- 人口減少による町の存続。
- 結婚する人が減って、少子化になる。
- 子どもが生まれる数が減る。
- 転出者数が増える。(10 ～ 20 代)

農業
- 農業や畜産業をする人が減る。

娯楽・施設
- 娯楽の場所がなくなる。
- イオンがなくなる。
- 商店街がなくなる。
- アリーナに人が来なくなる。
- 七戸町に観光客が来なくなると思う。
- 自販機が少なくなる。
- 少子高齢化が進んで、お店の経営が困難になる。(個人経営)
- 建物がつぶれる。

第３回　グループワーク②

(1) 日　時　令和7年2月12日(水)　13：25～15：15
(2) 場　所　青森県立七戸高等学校　多目的室
(3) 参加者　13名
(4) 次　第
　① 開会宣言
　② オリエンテーション
　　・前回のグループワークで出た意見の振り返り
　　・今回の作業についての説明
　③ グループワーク
　　・10年後の七戸町において「良くなりそうなもの」を実現するには、「悪くなりそうなもの」を防ぐためにはどうすれば良いか、その方法について意見を抽出する
　　・まとめと発表準備
　④ 各班成果発表
　⑤ 高校生ワークショップの総括

(5) 要　旨

グループワークにおいては、各班で活発な意見交換が交わされました。

各班に共通した意見として、七戸十和田駅周辺への商業施設整備や大手飲食企業の誘致、空き地や廃校施設などを再利用すること、町イベントの運営方法やSNSを活用した情報発信、さらには、町の活性化のための支援を募るクラウドファンディング（募金）を実施するなどの意見が挙げられました。

各班の特徴をみると、A班では農業従事者の減少を抑制するため、新規就農者に対する重点的な支援として、土地や機械設備の購入など初期費用の補助を行うことが挙げられました。「支援」に関連して、少子化や転出による人口減少に対する補助金制度をつくるという意見も挙げられました。分野の関連付けでは、「商業」「観光」「宿泊」の取組みが結びつき、観光産業の発展につながるとの意見がまとめられていました。

B班では、教育機関と連携して農業や歴史文化に触れる機会を創出すること、観光客数を増加させるため、町営スキー場や温泉、プールなどの既存施設の整備を行うこと、SNSの具体的な活用方法について意見が挙げられました。「政策」の分野では役場に意見箱を設置するという意見があり、住民の声を気軽に届けられるようにすることで、開かれた行政運営を期待する声もありました。分野の関連付けでは、「観光」産業発展のための「交通」機関の整備、町の「商業」活性化のためには町内外の「企業」との連携が不可欠である、と結びつけられていました。

10年後の七戸町をより良いものにするための具体的な対策として、高校生ならではの豊かな感性を生かした意見が挙げられていました。参加者は、町の強みを理解し、さらに弱みも認識しており、七戸町の住民として日頃から各々が町に対する視点を持っていることが伝わりました。

「良くなりそう」を実現するには？

どんな対策が必要？

「悪くなりそう」を防ぐには？

A班

商業

- 駅に商業施設をつくる。
- 駅の中や近くにもっと商業施設をつくる。
- 七戸十和田駅周辺にいろんな店をつくる。
- プールなど公共施設の建設。
- 動物と触れ合えるような機会をつくる。
- チェーン店の誘致を行う。
- 若者向けの施設をつくる。

観光

宿泊

- ホテルなどの宿泊施設の誘致。
- スキー場の近くに温泉やホテルをつくる。

観光

- 馬力大会を大規模でやる。
- 行事を減らして、1つの行事を大規模で行う。

支援

- 若者向けの補助金。
- 新生児を支援する制度をつくる。
- 七戸十和田駅周辺に住みやすくする制度を充実させる。

PR

- （七戸町の特産品を）ふるさと納税の返礼品としてPR。
- 各学校のPR動画をつくる。
- SNSで支援（を行っていること）のアピール。

農業

- 農業の魅力を発信する。
- 機械を買うなど、農業にかかるお金を補助。
- 土地を安く貸すなど、農家さんのための支援を手厚くする。
- 高校生などに農業体験をしてもらう。
- 余裕のある人や、農業をやりたいと思っている人たちを集めて、農業をしてもらう。

募金

- 町民から募金してもらう。
- 城跡の（保護、活用のための）募金を呼び掛ける。

再生

- 使わなくなった学校を再利用する。例）企業に買ってもらって新しい遊び場をつくる。企業と町の協力。
- 荒地を整備して、家などを建てて売る。
- 空き家をリフォームして利用。

交通

- 道路を再整備する。
- これ以上バスの便を減らさない。

「良くなりそう」を実現するには？

どんな対策が必要？

「悪くなりそう」を防ぐには？

B班

商業施設

- 土地の利用。→商業施設を建てる。（ショッピングセンター田清跡や七戸体育館跡、野田食品寺裏店跡など。）
- 駅の近くに娯楽施設を増やす。
- 道の駅をもっと満足度の高いものにする。
- ホテルをつくる。
- マクドナルド、モスバーガー、すき家、スターバックス、カラオケなどの娯楽を増やす。
- アリーナの近くにカフェをつくる。
- 町中の空いている場所を使って貸し出しをする。

交通

- 歩道を整備する。
- シャトルバスを分かりやすくする。
- バスの運転手の給料を上げる。
- バスや電車の便を増やす。

政策

- 子ども2人以上で支援金を出す。
- 役場に意見・質問・要望ボックスをつくる。（行事を増やしてほしいなどの要望）
- 自然を他の町より工夫して守る。

観光

- スキーの良さをもっと全面に出してスキーをしに来る人や外国人を増やす。（ナイターのライトアップの様子を写真に撮り、キレイさを伝える。）
- スキー場を宣伝する。魅力を増やす。
- 温泉がいっぱいあるので、草津温泉みたいにして外国人など観光客を増やす。
- SNS などを利用して、観光名所を今よりPRする。
- 地域の行事をSNS などで発信する。
- 温水プールがあることをSNS でもっと大きく出す。
- NAMIKI ジェラートを、SNS などでもっと大々的に取り上げる。
- Wi-Fi を使える場所を増やす。

イベント

- 地域での交流。祭りやイベント、行事の様子を綺麗に撮り、SNS にアップする。
- 祭り開催日を、他の市町村と被らせない。
- 祭りの日数を多くする。

城跡

- 小中学生による七戸城跡の史跡整備体験を実施する。
- 城跡に関するものを展示したイベントを企画する。

企業

- お金を募る、クラウドファンディングを企画する。
- 働ける会社を誘致する。（大手企業や派遣会社など大きな会社）
- 保護猫と触れ合えるカフェを建てる。

農業

- 学校で畑をつくる。
- 小・中・高 の行事に農業を手伝う行事を入れる。

バイト

- 高校生の日雇いバイトをつくる。
- 七戸高校のバイトをいつでも OK にして、経営困難の店で働かせる。